

福祉委員会

開催日	令和3年3月15日
時間	午前9時30分～午後2時19分
場所	委員会室
出席議員	白井 章、富田 雄二、岸本 洋美、野々部 享 小崎 進一、松川 秀康、松岡 繁知
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 宮崎企画部長 石黒企画部次長兼人事秘書課長 後藤企画部次長兼企画政策課長 平子総務部長 岩田総務部次長兼財政課長 飯田総務部次長兼財産管理課長 三輪総務部次長兼収納課長 栗本市民環境部長 石田市民環境部次長兼産業課長 伊藤市民課長 高山市民課課長補佐 篠田保険年金課長 藏城保険年金課課長補佐 所生活環境課長 清水生活環境課課長補佐 石塚産業課課長補佐 川村産業課課長補佐 梶浦産業課課長補佐 北神西枇杷島市民サービスセンター所長 葛山清洲市民サービスセンター所長 日比野春日市民サービスセンター所長 河口健康福祉部長 加藤健康福祉部次長兼子育て支援課長 鹿島社会福祉課長 岡田社会福祉課課長補佐 鈴木社会福祉課課長補佐 古川高齢福祉課長 幸村高齢福祉課課長補佐 石田高齢福祉課係長 犬飼子育て支援課課長補佐 寺社下健康推進課長 坂下健康推進課課長補佐 舟橋健康推進課課長補佐
関係職員	浅田議会事務局長 高山議事調査課長 鈴木議事調査課主査
議案または協議事項	1. 福祉委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

福祉委員会委員長 (白井 章君)

皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、ただいまから福祉委員会を再開いたします。

それでは、委員会に入ります。

傍聴者はお見えですか。

議事調査課主査 (鈴木 結佳理君)

一般傍聴人はお見えになりません。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

今日は、健康福祉部の各所管について審査していただきます。

それでは、最初に、議案第2号 令和3年度清須市一般会計予算案について、所管ごとに歳入歳出続けて説明をお願いします。

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長 (加藤 久喜君)

子育て支援課の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

令和3年度一般会計・特別会計予算書及び説明書をお願いいたします。

一般会計予算のうち歳入の健康福祉部所管分につきましては、私のほうから一括で朗読説明をさせていただきます。

それでは、歳入になります。

18、19ページをお願いします。

4段目になります。

13款分担金及び負担金、1項負担金、1目民生費負担金、本年度予算額1億7千35万2千円、1節社会福祉費負担金と2節児童福祉費負担金でございます。

2目衛生費負担金、本年度予算額7千415万5千円、1節保健衛生費負担金、説明欄の1行目、未熟児養育費負担金になります。

14款使用料及び手数料、1項使用料、2目民生使用料、本年度予算額173万4千円、1節社会福祉使用料と2節児童福祉使用料になります。

はねていただきまして、20、21ページをお願いいたします。

中段になります。

2項手数料、2目衛生手数料、本年度予算額1億5千805万3千円、1節保健衛生手数料のうち説明欄2行目、犬登録手数料と3行目、狂犬病予防注射済票交付手数料でございます。

はねていただきまして、22、23ページをお願いいたします。

15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、本年度予算額27億7千252万8千円、1節社会福祉費負担金から3節生活保護費負担金まででございます。

2目衛生費国庫負担金、本年度予算額260万4千円、1節保健衛生費負担金でございます。

2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、本年度予算額3億619万8千円、1節社会福祉費補助金から3節生活保護費補助金まででございます。

3目衛生費国庫補助金、本年度予算額1千190万9千円、1節保健衛生費補助金のうち説明欄1行目。感染症予防事業費等補助金から3行目、母子保健医療対策総合事業補助金までになります。

はねていただきまして、24、25ページをお願いいたします。

2段目になります。

3項国庫委託金、2目民生費委託金、本年度予算額1千124万4千円、2節児童福祉費委託金でございます。

その下になります。

16款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金、本年度予算額10億5千552万3千円のうち1節社会福祉費負担金のうち説明欄3行目、障害者自立支援給付費負担金から最後の民生児童委員活動費負担金までと2節児童福祉費負担金及び3節生活保護費負担金でございます。

2目衛生費県負担金、本年度予算額130万2千円、1節保健衛生費負担金でございます。

はねていただきまして、26、27ページをお願いいたします。

2項県補助金、2目民生費県補助金、本年度予算額6億7千64万9千円、1節社会福祉費補助金のうち説明欄の3行目、地域生活支援事業費等補助金から最後の行の介護施設等整備事業費補助金までと2節児童福祉費補助金でございます。

3目衛生費県補助金、本年度予算額1千38万1千円、1節保健衛生費補助金のうち説明欄の2行目、一般不妊治療費助成事業費補助金から最後の行の骨髄提供者助成事業費補助金まででございます。

はねていただきまして、28、29ページをお願いいたします。

2段目になります。

3 項県委託金、2 目民生費委託金、本年度予算額 8 万 8 千円、1 節社会福祉費委託金と 2 節児童福祉費委託金でございます。

はねていただきまして、30、31 ページをお願いいたします。

下段の 18 款寄附金、1 項寄附金、3 目民生費寄附金、本年度予算額 1 千円、1 節社会福祉費寄附金の窓口計上でございます。

はねていただきまして、32、33 ページをお願いいたします。

19 款繰入金、1 項特別会計繰入金、2 目介護保険特別会計繰入金、本年度予算額 1 千円、1 節介護保険特別会計繰入金の窓口計上でございます。

はねていただきまして、34、35 ページをお願いいたします。

21 款諸収入、3 項貸付金元利収入、1 目貸付金元利収入、本年度予算額 1 億 2 千 3 9 2 万 5 千円、1 節貸付金元利収入のうち説明欄の 3 行目、災害援護資金貸付金収入でございます。

4 項受託事業収入、1 目民生費受託事業収入、本年度予算額 2 千 6 6 7 万 3 千円、1 節社会福祉受託事業収入でございます。

5 目雑入、2 目雑入、本年度予算額 6 億 6 千 5 9 2 万 1 千円、3 節民生費雑入とはねていただきまして 36、37 ページの 4 節衛生費雑入のうち説明欄の 1 行目の成人健康診査等受診者負担金及び 2 行目、看護実習生等委託金と最後の行の雑入までとなります。

令和 3 年度一般会計予算健康福祉部所管につきましては以上でございます。

続きまして、一般会計の歳出につきまして、各担当課長から説明をさせていただきます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課長の鹿島でございます。

初めに、54、55 ページを御覧ください。

3 款民生費、1 項社会福祉費、1 目社会福祉総務費、本年度予算額 2 4 億 2 千 3 4 7 万円、7 節報償費から 27 節繰出金まで、説明欄、上から 2 つ目の見出し、社会福祉費から 7 つ目の見出し、社会福祉協議会費までと、さらに 3 つ下の見出し、介護保険特別会計繰出金でございます。

続きまして、2 目障害者福祉費、本年度予算額 1 8 億 7 千 2 4 3 万 5 千円、1 節報酬から、はねていただきまして、56、57 ページの 19 節扶助費まで、戻っていただきまして、54、55 ページの説明欄、上から 2 つ目の見出し、障害者福祉費から、はねていただきまして 56、

57ページが一番下の見出し、障害児通所支援費まででございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課の古川でございます。

高齢福祉課所管分になります。56、57ページでございます。

3目高齢者福祉費、本年度予算額4億5千266万3千円、7節報償費から19節扶助費まででございます。

主なものといたしましては、介護施設等整備事業費補助金は地域医療介護総合確保基金を活用した補助金でございます。

1枚はねていただきまして、58、59ページをお願いいたします。

3段目、5目社会福祉施設費、本年度予算額1億2千802万3千円、1節報酬から14節工事請負費まででございます。

主なものといたしましては、にしば創造センター整備費として照明環境制御盤更新工事費等を予算計上しております。

高齢福祉課所管分につきましては、以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。子育て所管分につきまして説明をさせていただきます。

同じく、58、59ページをお願いいたします。

3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、本年度予算額21億6千282万1千円、1節報酬から60、61ページ、19節扶助費まででございます。

主なものといたしまして、58、59ページの説明欄の児童福祉費では、下の段から3行目の子ども家庭総合支援拠点運営費と最後の下段の要保護児童等情報共有システム導入費では、子どもや子育て家庭からの相談全般に対して、通所・在宅支援を中心に新たに雇用する虐待対応専門員や子ども家庭支援員が、より専門的な立場での相談体制を構築するために、また共有システムでは、要保護児童の記録管理を行い、児童相談所やその他の自治体との連携をより迅速に対応するためのシステムを導入する費用でございます。

60、61ページの子ども・子育て支援費では、令和3年4月からの新たに西枇杷島地区に開園する認定こども園に対する施設型給付費、その下、小規模保育施設等への地域型保育給付費、また幼児教育・保育の無償化により認可外保育施設の利用及び幼稚園などの一時預かりなど、施設利用費に係る費用の一部を助成する施設等利用費を計上させていただいております。

また、10行目の小規模保育事業施設整備費では、増加傾向にある3歳未満児の保育ニーズに対応するため小規模保育事業者を公募し、その事業費に対して施設整備を補助するための費用となります。その他ファミリー・サポート・センターの事業運営費及び児童手当の支給費になります。

2目母子福祉費、本年度予算額2億7千402万円、1節報酬から19節扶助費まででございます。

主なものといたしまして、母子家庭などが自立に向けた生活支援などの各種事業費、遺児手当費、児童扶養手当費になります。

3目保育所費、本年度予算額14億4千896万4千円、1節報酬から62、63ページの18節負担金、補助及び交付金まででございます。

主なものといたしましては、市内公立保育園の12園の運営に関する経費を計上させていただいております。

60、61ページの職員人件費では、各保育園の保育士の給与及び保育園に勤務する会計年度任用職員の報酬、62、63ページの保育園管理費では、保育園施設の良好な維持のための費用、保育園事業費につきましては、各施設ごとの事業を行う事業費になっております。

また、下段の保育園整備費につきましては、花水木保育園の公共下水設備工事等の予算を計上させていただいております。

4目児童館費、本年度予算額7億4千106万3千円、1節報酬から64、65ページの18節負担金、補助及び交付金でございます。

主なものといたしましては、市内の8児童館の運営に関する費用を計上し、職員人件費では、各児童館の児童厚生員の給与及び放課後児童クラブなど児童館に勤務する会計年度任用職員の報酬、64、65ページの児童館管理費では、児童館を快適に維持するための費用、児童館事業費につきましては、各児童館の行事等を計上させていただいております。

児童館整備費では、老朽化した清洲児童館を新たに児童センターとして建て替えを行うための整備事業と清洲児童センターウイングの空調整備の経費を計上させていただいております。

5目児童福祉施設費、本年度予算額3千239万9千円、1節報酬から17節備品購入費まででございます。

主なものといたしましては、職員人件費では母子通園施設の職員給与、たんぼぼ園に勤務する会計年度任用職員の報酬、母子通園施設費では、母子通園施設的良好施設のための管理費と各種事業の事業費を計上しております。

6目子育て支援センター費、本年度予算額3千169万1千円、1節報酬からはねていただき、66、67ページの18節負担金、補助及び交付金まででございます。

主なものといたしましては、市内4つの子育て支援センターの運営に関する経費を計上し、職員人件費につきましては、子育て支援センターに勤務する会計年度任用職員の報酬、その他管理費につきましては、子育て支援センターの管理費用、また、66、67ページの事業費につきましては、子育て支援センターの年間の各種行事費等を計上させていただいております。

子育て所管分につきましては、以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課の鹿島でございます。

同じく、66、67ページの2段目でございます。

3項生活保護費、1目生活保護総務費、本年度予算額7千543万9千円、7節報償費から22節償還金、利子及び割引料まで、説明欄、上から2つ目の見出し、生活保護費でございます。

続きまして、2目生活保護扶助費、本年度予算額9億9千834万9千円、19節扶助費でございます。

次に、4項災害救助費、1目災害救助費、本年度予算額15万8千円、10節需用費から19節扶助費まででございます。

社会福祉課所管分につきましては、以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

健康推進課の寺社下でございます。よろしく願いいたします。

68、69ページをお願いいたします。

4 款衛生費、1 項保健衛生費、1 目保健衛生総務費、本年度予算額 2 億 8 千 4 5 5 万 8 千円、1 節報酬から 1 8 節負担金、補助及び交付金まででございます。

主なものといたしましては、職員人件費、救急医療に関わる負担金でございます。

続きまして、2 目予防費、本年度予算額 4 億 1 千 4 0 4 万 7 千円、1 節報酬から、はねていただきまして、7 0、7 1 ページ、1 9 節扶助費まででございます。

主なものといたしましては、予防接種費、がん検診費、妊婦等健康診査費の委託料でございます。

以上、健康福祉部の歳出でございます。御審議よろしくお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

歳入歳出、ページを追って順次行っていきますので、よろしくお願いします。

それでは、1 8、1 9 ページで質問のある方、挙手をお願いします。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、2 0、2 1 ページ、いかがでしょうか。よろしいですか、委員の皆さん。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、2 2、2 3 ページ。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

2 3 ページの民生費国庫補助金、第 1 5 款のところの右のほうにございます、下から 3 行目、児童虐待・DV 対策総合、この国庫補助金が 5 1 9 万円、その下に保育対策ってございますが、先ほど次長が申し上げられた子ども家庭総合支援拠点、こういった関係かなと思うんですが、ここを詳しく教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

事業の内容でよろしかったでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

この2つの補助金がどの事業に行くのかということです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

今回新たに児童の虐待等が最近増えておりますので、国のほうが、令和3年度から児童虐待につきまして専門的な職員を配置するよにということになっておりまして、そっちのほうで向けまして、私どものほうにつきましては子育て家庭の拠点事業を開催させていただきたいと思っております。

今回、まず上の519万円につきましては、専門職員等を配置させていただきますので、そちらの人件費につきまして国庫補助が2分の1ついてるものでございます。

その他、そちらの拠点を開始させていただきますにつきまして、開催の部屋のほうの備品等を購入させていただきたいと思っておりますので、そちらのほうの予算の歳入でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ここで関連ですので、その拠点の改修というのはどこをお考えなんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

拠点につきましては、虐待支援専門員等職員が必要になってまいりますので、そちらの職員増を考えておりますので、机であったりとか、専門の電話回線を引く予定をしております、そちらのほうの改修をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

今おっしゃるのは、新たに拠点というか、お部屋を設けるのではなくて、そういった専門員を、今、子育て支援課ですかね、その中で机を並べてという。拠点であるものですから、その辺を何かどこかに拠点というふうに思うんですが、どうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

本来、拠点につきましては、相談室等を設けるのが一番よろしいかと思っておりますので、お部屋のほうも改修が難しいこともありますし、子育て支援課の後ろのところに相談室等があります。そちらのほうを活用させていただきながら、専門的な相談がありましたら、そちらの部屋をもって対応させていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

人件費は新しく何名予定していらっしゃるのか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

拠点につきましては、職員基準が決まっております。そちらのほうにつきましては、資格を持った者が必要になってまいりますので、社会福祉士であったりとか、保健師であったりとか、看護師・保育士等が専門的な立場で相談を行うことになっておりますので、今回、今の家庭相談員の職員に2名追加させていただきまして、そちらのほうを対応させていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

その下の保育対策も先ほどお尋ねしたんですが。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

こちらの保育対策総合支援事業費補助金につきましては、今回公募をさせていただきます小規模保育事業所のほうの補助金になっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他には、このページ。

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

富田でございます。

子ども家庭総合支援の問題で関連でよろしいですか。

先ほど岸本委員のほうから質問がございましたが、職員の資格を先ほどおっしゃられましたね。もう一度言っていただけませんかでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

職員の基準につきましては、医師、社会福祉士、保健師、看護師、保育士などの資格を有する者となっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

ありがとうございます。

私、前に一般質問させていただいたんですけど、従来からあります子育て世帯包括支援センタ

一ですね、それとあと要保護児童対策地域協議会ですか、こちらのほうの連携というのはどうなっておるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

まず、子育て世帯包括支援センターとの連携につきまして説明をさせていただきます。

子育て世帯包括支援センターにつきましては、妊娠期から乳児期における総合相談を私どもの子育て支援課のコンシェルジュであったりとか、健康推進課のコーディネータのほうで育児の相談であったりとか、必要な情報提供をさせていただいているところでございます。

今回、子ども家庭の拠点等につきましては、御家庭によってはリスクが高い御家庭もあるかと思っておりますので、そちらのリスクの高い御家庭に対しまして専門的な資格を持った職員が対応させていただきたいと思っております。

今あります要保護児童対策地域協議会との連携につきましては、まず、今現在、要保護対策の協議会のほうで情報把握だったりとか情報収集のほうを行っておりますので、そちらにつきましては引き続き各子どもを守るという体制につきましては、児童相談所であったりとか、保健所であったりとか、警察署等の方々の御協力をいただきながら、連携しながら子育て支援を守ってきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今、要対協のほうの出席者のほうもお話しいただいたんですけど、皆さん御存じのように、先日も5歳の男の子ですね、餓死したという痛ましい事件があったんですけど、これはわけの分からんようなママ友にだまされたとかどうのこうのっていう報道がありましたけど、このときもそうでしたけど、親族も児童相談所のほうに何度も安否確認しとるわけです。それにもかかわらずこういう結果になってしまったということで、今回こういう子ども家庭総合支援拠点というのをしっかりつくられるということですので、ぜひとも、児童相談所とか警察とか綿密に連携いただいて、こういう悲劇のないようにしていただきたいと、要望だけお話ししときます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

(「なし」 の声あり)

福祉委員会委員長 (白井 章君)

ないようですので、次に行きたいと思います。

24ページ、25ページ、いかがでしょうか。よろしいですか。

(「なし」 の声あり)

福祉委員会委員長 (白井 章君)

それでは、26、27ページどうでしょうか。いいですか。

富田副委員長。

福祉委員会副委員長 (富田 雄二君)

富田でございます。

民生費県補助金のところで一番下のところの介護施設等整備事業費補助金というのがございますが、これは歳出のほうでも同じような項目であります。黄本を見ていただきますと、81ページですね、全額が国と県の支出金というふうになってますので歳入のほうで質問させていただきますが、事業内容の最後のウのところ、特養のペガサス春日の大規模修繕事業と書いてございますが、これはどんな事業なんですか。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

古川課長。

高齢福祉課長 (古川 伊都子君)

高齢福祉課、古川でございます。

この事業は、地域医療介護総合確保基金を活用して介護施設等の創設を条件に行う広域型の施設の大規模改修に対して行われる補助事業でございます。ペガサス春日の空調工事の修繕事業に充てられる補助金でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

富田副委員長。

福祉委員会副委員長 (富田 雄二君)

これは本来ですと福祉会の事業ですわね。当市のほうから一銭も出てないということで、それに関してはあれなんですけど、この県・国の支出金でまかなえる事業ということですが、清須市

が本市としてこういうふうに取り上げられるというのはどういうことなんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

こちらの補助事業につきましては、申請を市の窓口にさせていただいて、県のほうにさらに申請をする事業になっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

それで、内容は、定員数が100名、単価が112万8千円ということで、それを掛けた分が下に1億1千280万円ということですので、今、言われた空調設備を整備されるということですが、これ以内の工事をされるということ、これが限度でこれしかお金が出ないと。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

古川でございます。

補助金につきましては、そこまでの限度額で負担されますけれども、出た分につきましては西春日井福祉会のほうに支出していただく予定になります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

それと、仮にオーバーした場合でも市のほうは関係ないと。福祉会のほうで財源は確保されるということによろしかったですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

ありがとうございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、このページ、他にはないですか、

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

では、次へ行きます。

28、29ページ、どうでしょうか。ありますか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、それでは、30、31ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

32、33ページ、いいですね。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

34、35ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

36、37ページ、ありますか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、ここで1点、私、質問させていただきますので、委員長の職を富田副委員長にお願いいたします。よろしく申し上げます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田でございます。

これより委員長の職にあたらせていただきますので、よろしく申し上げます。

それでは、質疑を受けます。

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

37ページのほうの雑入ですが、太陽光発電売電収入で、これは民生費の所管でよろしかったですね。

それですね、前年度の予算額43万2千円から174万6千円という当初予算になっております。約4倍増えてるわけですね。太陽光発電については公共施設の新築・改築等を行う場合、太陽光発電のシステムを導入しておりますね。過去、西枇杷中学校とか花水木保育園とか、あるいは図書館、本庁舎の改修もそうですけども、こういうことで増えてると思いますが、今、何施設ぐらい、これはそちらでよろしいですか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援、加藤です。

現在、保育園のほうで西枇杷島保育園を始め5か所、あと、児童館施設のほうで2か所、太陽光のほうは設置されております。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

売電収入というのは7か所だけですか。他にはないんでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援、加藤です。

今回こちらの174万6千円につきましては、以上の箇所になっております。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

所管が違うからいけないかも分かりませんが、他のそういうシステムがありますよね。それ

は売電はされてないんでしょうかね。それはいかがですか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

総務部長。

総務部長（平子 幸夫君）

総務部長、平子でございます。

基本的には、今、白井委員長が言われたとおり、改修の折に太陽光のものが設置できるかどうかということで検討の上、構造等に問題がなければ省エネの観点から設置していくということでございます。

予算書上は各教育費ですとか、費目ごとに太陽光の収入があれば雑入であげてございますので、ただ、太陽光ソーラーが当たるとかからといって必ずしも売電しているかと、そういうわけでもございません。例えば、本庁舎のように、基本、昼間の間に発電をしておいて、蓄電池のほうへためて、太陽光が使えないときに夜使うとか、そういった施設もございまして、全ての施設が売電をしとるというわけではございませんので、その辺は予算が上がったり上がってなかったりということはございまして、そういうことでお願いしたいと思います。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

太陽光で得た電気は有効に活用していると。その中で、福祉の関係は売電しているということですね。

それで、再生可能エネルギーの活用ですけれども、これは福祉の関係になるかどうか分かりませんが、今後も市としてはこういうような売電電気も含めまして、再生可能エネルギーに対して活用とかいうことのお考えはどうなんでしょうか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

平子部長。

総務部長（平子 幸夫君）

総務部長、平子でございます。

従来からもスタンスは変わらないんですけれども、建物を改修する時点でそういったことが可能かどうか、省エネということだと思いますと、例えば、東部でありますとか、なるべくそういったところの電気を使わないようにということも含めて、いわゆる電気量の削減を図りつつ、ある

いは太陽光で発電をしつつということは今後も施設改修のほうでやっていきたいと思っております。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

それでは、白井委員長の質疑を終わります。

これで私の委員長の職を辞しまして、白井委員長のほうにお返しいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、委員長の職にあたらせていただきます。

これで歳入を終わらしまして、歳出に行きます。

54ページ。

小崎委員。

小崎 進一委員

小崎です。

介護保険事業についてお聞きいたします。

主要施策の320ページにあります介護保険事業について、6千700万円増額されていますが、増額の内容はどのようなものでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

増額の理由といたしましては、高齢者人口や特に後期高齢者の人口が増加することで介護給付費の増加が見込まれることと、また、介護報酬の改定や地域区分の変更等で給付費の増額を見込んでおります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

小崎委員。

小崎 進一委員

保険給付については事業費が増えていますが、地域支援事業費が令和2年度と比較してそれほど増えていないようですが、どうしてですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

令和2年度につきましては、コロナの影響もありまして、介護予防事業の利用を控えられていることもあります。利用の伸びが今年度見込まれておりませんので、令和3年度につきましては本年度の実績から算出しております。引き続き、コロナの感染症の状況を注視しながら、状況に応じた介護予防事業に努めていきます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

説明欄の上から4段目ぐらいに保護司等費ということですが、これは前年までは総務のほうにあったんですけど、どうしてこちらに来たんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

今年度の10月の組織改編等々に伴って事業の見直し等をしまして、こちらのほうの保護司等費の所管について防災行政課のほうから社会福祉課のほうに事務が移ったということでございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

行政のそういった仕分だと思っんですが、やっぱりこれはこちらの課が妥当なんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

2市1町で西春日井保護区というものを構成しております、他の北名古屋市、豊山町のほうも社会福祉課民生主管のところ所管をしているということで妥当だというふうに考えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

結構です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他には。

松川委員。

松川 秀康委員

社会福祉協議会費なんですけれども、主要施策の59ページ、前年度と比較して380万円ほど上がっているのは、職員の方が1人増えた分と考えてよろしいでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

再雇用職員の1名分につきまして増額をしております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

人員が増えた理由はこういったものなんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

コロナの影響によって社会福祉協議会のほうで行っている貸付けのほうがかかなり急増しております、それに対応するために社協のほうで、臨時的に新規職員ではなくて再雇用の職員で来年

度について対応したいという申出があって、それに伴う増額でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

ということは、一時的な業務量増に対応するためで、コロナの申請が減ったら再雇用の方はお辞めになるという、そういう認識でよろしいでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

単年で終わるものかどうかというところは社協のほうも人員計画等々があってですね、取りあえず来年度については新規採用をしない状態で考えておったのですが、コロナの影響で職員体制がこのまま1減になってしまうと市民の方にも迷惑をかけてしまうということで対応をしたというふうに聞いております。これが単年で終わるかどうかというところまではうちのほうではきちんと消化しておりませんが、コロナのほう落ち着いたからすぐ退職になるかどうかというのは、今後の社協の事業展開にも関わってくる問題だというふうに考えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはよろしいですか。54、55ページいいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

次、行きます。

56、57ページいかがでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松岡委員。

松岡 繁知委員

松岡です。

高齢者セーフティネット対策費ということなんですけど、下から6行目、黄本の85ページで事業の内容は、ひとり暮らしの高齢者に緊急通報システムとかのサービスによって自宅にいる方

の福祉向上を図るとのことなんですけど、今、コロナ禍において高齢者の方も自宅から出る機会がない中で、このサービスをコロナ禍で何かプラスで行っていることはあるんでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

このコロナ禍におきまして、令和元年度より令和2年度のほうが利用者が増えておりまして、来年度につきましても利用見込みのほうを増加しております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松岡委員。

松岡 繁知委員

それに伴って予算が多少増えてることいいですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

野々部委員。

野々部 享委員

野々部でございます。

今のところでお聞きしたいんですけど、緊急通報システム、たしか先日の一般質問で業者は2種類あって、内容が違うってあったんですけど、もう少し詳しく、どんな内容があるか教えてほしいんですけど。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

今現在3社、業者のほうがございます、全ての業者はガードマンが駆けつけるんですけども、ガス漏れ火災報知機の設置をしている業者やトイレの出入口にセンサーを設置しまして、24時間開閉がない場合にガードマンが駆けつける業者もございます。また、もう1つの業者につきましては、月に1回、電話で御本人の安否確認を行う業者がございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

これはたしか所得200万円以下の世帯が無料ということなんですけど、ほとんど全員がそのような対象の方かな。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

ほとんどの方が無料で設置のほうをさせていただいておりますけれども、自己負担金を出している方も20名ほどお見えになります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

結構です。

続きに1ついいですか。

基幹相談支援センター費のことでお聞きします。

この中で相談支援専門員、社会福祉士とありますが、これは何人体制でやってみえるのか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

現在、社会福祉協議会の正規の職員4名の体制で基幹相談支援センター事業のほうに従事して

いただいております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

4名の割合というのはどんなふうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

相談支援員が1名と社会福祉士が2名、看護師が1名、そのうちの1人が精神保健福祉士を持っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

年間相談というのは何件ぐらいあるんでしょうね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

令和元年度の実績としましては、合計で661名の方からの相談がありまして、支援の方策としましては2千300件強の内容の相談を受け付けております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員、よろしいですか。

野々部 享委員

ありがとうございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

松川です。

老人保護措置費、主要施策の78ページなんですけども、前年度と同様8人なんですけど、まず、100万円増になっているのは、施設が変わった、それが理由ですかね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

令和3年度につきましては、令和2年度より視覚障害者の高齢者の方が老人ホームのほうに新規入所されておまして、そちらのホームのほうが通常の養護老人ホームよりも入所費用が高いため、事業費が高くなっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

ありがとうございます。

それともう1点、一番下の敬老費なんですけれども、人数が減ってるんですけども、これはたまたまなんでしょうか。

敬老金の支給、88歳の対象者が昨年より27人減って、100歳になる方が4人減ってる。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

令和2年度につきましては、予算を算出する際の住民基本台帳から敬老金の対象者を見込んでおりましたけれども、令和3年度につきましては88歳の敬老金の対象者の方から毎年減少されるので、その減少率を過去3年の減少率で出させていただきます、より正確な対象者の把握をしました。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

ありがとうございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

2目の説明欄の下から4行目、障害者共同生活援助施設整備費等負担金ということで約1千万円でございます。参考資料の75ページにございますが、2市1町で新しくできるグループホーム、このことなんですけども、6月開設ということに聞いておりますが、ここの定員、また募集の仕方、今ある杜ですかね、そこから移られるのか、障害者と書いてあるだけですので、どういう障害者が対象なのか、オープンも間近ですので、今の現況等を含めて具体的にお聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

このたびオープンする障害者グループホームこだちにつきましては、利用定員は10名です。そのうち体験利用型のものが1名含まれております。それで、開設は令和3年6月を予定しております、グループホームとしての募集人員としては、男性が5名、女性が4名、清須市・北名古屋・豊山町在住の18歳以上の知的障がいの方で障害支援区分が4以上の方を利用の対象としております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

知識障害者ということで、今現在、隣の杜ですかね、そこにもあるんですけども、以前どこの場で聞いたかな、全協でしたかね、そこで軽度の方を極力こちらに移してというようなことも聞いたんですが、そののところが教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

現在、西春日井福祉会のほうで福祉の杜に入所されている方の御家族・保護者の方等々にも紹介をしながら、施設からグループホームへの移行等々の希望等もお聞きしながら、入所者のほうを決めるといふふうに聞いております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

であれば、福祉の杜の方がどちらかというと優先的で、一般の方から新たに直接ここに入所と
いうか、それはどういう考えですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

施設に入所している方の中でもグループホームという施設の状況になじめる方、なじめない方
が見えるかと思しますので、また、新規の御利用の方も福祉の杜に入所希望をされていて、グル
ープホームにも入りたいといふふうに重複で申込みをされてる方も何人か見えるといふふうに聞
いておりますので、そこにつきましては、福祉会のほうで面談等をしてしながら入所者のほうを決め
ていくといふふうに聞いております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

それで、9名の枠ですけれども、福祉の杜から移行するにしても、9名の定員が空くもんですか
ら、この募集の仕方というのは2市1町で、ある意味では均等にといいいますか、そういう見方
ですかね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

やはり清須市としても応分の財源的な負担をしておりますので、それなりの入所数のほうは確保したいということで、西春日井福祉会のほうには申入れのほうをしております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

日頃そういうふうに入りたいという方も聞いておりますので、市長、それに応じて強くその辺はさせていただきたいと思います。

その下の特別養護老人ホームの建設のところですね。いわゆる第6特養、これは参考資料の79ページにございますが、令和4年にオープンと聞いております。令和4年までのある程度スケジュール、募集も含めて、大ざっぱで結構ですので、大体のスケジュールを教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課の古川でございます。

現在、起工式のほうも終わっておりまして、1月から基礎工事のほうが始まっております。令和4年1月下旬に完成を予定しておりまして、令和4年4月に開設の予定でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

100名で聞いておりますが、この募集というのは、その周知も含めて、いつ頃から募集をしていかれるんですかね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

周知につきましては、まだ具体的に示されておりません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

西春日井福祉会がされることでしょうか、これから1年かかるんですが、また議会のほうにもある程度情報をまた提供といいますか、教えていただきたいと思います。

もう1点、最後になりますけど、その下の介護施設等整備事業、先ほど富田委員のほう、ありましたが、私は新川病院のことでお聞きしたいと思います。

この新川病院は療養型病床ということから、ここに書いてあります介護医療院の転換事業ということで、県が補助してやってくださいということだと思っております、もう既に2年度から4年度、工事しますよとありますが、私の頭の中で分からないのは、この名前が変わって、中の扱いというんですかね、事業というか、その辺のあたりを教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

介護医療院へ転換することにより拠出が広がりまして、プライバシーの確保のための仕切りの配慮が充実され、生活しやすい居室空間となります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

そうした居室の居住空間が広がるということで、事業内容はこれまでと変わらないんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

大きく変更はございません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

それと、今おっしゃったんですが、1部屋が広くなるという、そういう意味で、ベッド数というのとは変わらないんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

令和4年度ということで、今度は令和3年、もう1年かけてということは、また同じ、全部、県補助でここは見るということですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

県の補助もございますけれども、自主財源での費用負担もございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

財源というのはこの新川病院のことですね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか、このページ。

ないようですので、私から1点質問させていただきます。

それでは、委員長の職を富田副委員長にお願いいたします。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田でございます。

これより委員長の職にあたらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、質疑を受けます。

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

障害者の総合支援費の関係についてお聞きします。

57ページの上から4番目以降に、障害者総合支援費の中には介護給付費から訓練等給付費、自立支援医療費以下手話奉仕員養成費までありますね。非常にサービスの利用者も増えてますし、件数、事業費も大きくなっていると思います。事業費を見ますと5億円を超えとか4億円とか10億円以上になっておりますけども、この事業費に対して市は一般財源を投入していますけど、国と県の支出金というのはありますけども、大体4分の3がそれぞれ決められて、国とか県の支出を得られているということですけど、ずっと見ますと、ほとんどが4分の3ですけども、この中に地域生活支援給付費というのがあります。額的には1億918万1千円です。この地域生活支援給付費だけは4分の3じゃなくて約56.7%になっております。これは何か支出以外のもの、他は4分の3なんですけど、この地域生活支援給付費だけがそういう率になっています。この理由はどういうことでしょうか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

この地域生活支援事業につきましては、国のほうがメニューを決めてる中から市町村の中で地域の実態に合わせて事業展開を行うというものでして、訓練等給付費ですとか介護等給付費とは考え方が違うものですから、4分の3を頂けないケースもあるというふうに認識しております。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

この予算は今56.7%ですが、令和元年度の決算を見ますと、令和元年度決算は8億7千292万952円が事業費で、その国と県の支出金が2億7千万円なんです。31%なんです。だから、実際は大分違うんですよ。こういうことってあるんでしょうか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

こちらの事業の国庫・県費については、予算の範囲内という形になっておりますので、その2分の1、4分の1が確実に補償されているものではないというふうに認識しております。ですから、事業費として満額、うちのほうは申請をするのですが、実際に交付決定を受けるのが、先ほど委員おっしゃられた40%になったり30%になるというふうに考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

分かりました。ありがとうございました。

以上で終わります。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長の質疑を終わります。

これで委員長の職を辞しまして、白井委員長のほうにお返しいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

委員長の職にあたらせていただきます。

よろしく申し上げます。

それでは、次に、58、59ページ。

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

富田でございます。

春日老人福祉センターの件でお伺いしますが、2月の臨時会のほうで空調設備設置場所のほうにアスベストが発見されたということで、さらに補正予算が組まれまして工事がなされとるわけですが、これからだんだん暑い時期に入ってきますけど、工事としてはいつ頃終わる予定ですか。また、市民サービスセンターのほうも入ってますけど、利用者のほうには支障はございませんでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

空調工事をしている部屋につきましては、6月までに完了する予定でございます。

また、工事をする際には利用を中止させていただく必要があることが考えられますので、状況に応じて利用者には御協力をお願いしていきます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

それと、これはちらっと聞いたんですけど、今、1階の部分の空調工事をされとるわけですけど、3階のほうは保健所のほうにお貸ししてますわね。工事の人とたまたまお話しするときがあって、3階のほうは天井も替わってまして、全然アスベストとか問題なかったですよと言われましてけど、他はどうなんですかね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

現在アスベストのほうが確認されておりますのが、廊下・階段の共有部分と大集会室のほうにアスベストが含まれている天井材がある状況です。

今回の空調工事といたしましては、早く6月までに空調が完了するように工事を図っておりますけれども、今後につきましては、関係機関と事業の調整をいたしまして、アスベストの残っている部分については、工事を令和3年度以降に検討していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

そうしますと、まだ他にアスベストがあるところがあって、来年度以降に工事をされるという計画、来年度以降また補正予算を立てられてやられるということですね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

来年度以降、補正をさせていただくかどうかは保健所等がございますので、利用者の状況を見ながら適切な時期に検討していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

令和2年のときに当初予算として9千万円出まして、さらに9月でしたか、室外機のほうが耐震の関係で下に降ろさないかんということで補正予算が出まして、さらにこの2月にアスベストの問題で補正予算が出てきたと。また、今、言われたように、来年度以降、アスベストの工事をせないかんかなというところで、何か理解しがたい面があるんですけど、今後こういう施設管理ですね、これは今日せつかく財政課長が見えとるんですけど、これはどこに関わってくるんですかね、財政課長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

飯田次長。

総務部次長兼財産管理課長（飯田 英晴君）

財産管理課の飯田でございます。

今後、整備等につきましては、うちのほうを中心となって所管課と協力し合い、整備のほうを進めていきたいと考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

そうすると、例えば、今後こういった工事があった場合、財産管理のほうも現課と一緒に連携されてやられるという、そういう理解でよろしいですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

飯田次長。

総務部次長兼財産管理課長（飯田 英晴君）

飯田でございます。

そのとおりでございます。運用とか、どうしても所管課のほうが詳しいですので、そういった面を含めて、既設の施設につきましては使用しながら改修していくというような、いろんな問題がございますので、協力体制を密に行い、整備のほうを進めていきたいと考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

分かりました。しっかりお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本です。

59ページ、下から3行目の家庭総合支援拠点運営費、先ほど大方お聞きしたんですが、1点だけ、この事業目的ということで103ページに書いてございます。これは要支援児童及び要保護児童並びに特定妊婦等への支援ということであります。この特定妊婦等、これまでも家庭相談員とか、そうしたところで、もちろんさっきおっしゃった虐待も含めてあったと思うんですが、たまたま昨日の中日新聞に特定妊婦が10年で7倍に増えてる。愛知県で229名。特定妊婦というのは何かっていうことは言うまでもありませんけども、経済苦や予期せぬ妊娠などで育児に困難を抱える可能性があり、出産前から支援が必要と行政に認定されたという。今ましてコロナ禍の中でありまして、家に籠もりがち。例えば、2人目がいても、上に子どもがいる、様々そうした家庭内の中での目に見えない、行政が手に届かない、また、こうした人は行政にもなかなか

来ない、こうした特定妊婦の件ですが、これまでといたしますか、前年度でも結構ですが、1年に何人ぐらいこうした方を掌握してみえるのでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

健康推進課の寺社下でございます。

特定妊婦に関しましては、人数としまして2018年が11名、2019年が10名、2020年、今年度が5名というふうになっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

また、この新聞にも本当にこうした人数は氷山の一角だと、まだまだいるでしょうと、私もそう思いますし、周囲だったり、ご本人が言わないと分からないということなんですけど、今おっしゃいました新たに総合支援拠点、国からも補助金をもらってやりますよと。これまでとどういふふうに違うやり方でこうした方を見つけたりとか、申請しやすいようにとか、虐待も含めて、よりこうしたことに取り組んでいくという気構えと、1つの拠点ができたわけですから、これまでとどういふふうに違う取組をされるのか、もう一度お聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

先ほどの歳入のときに説明させていただきました子育て包括支援センター等ありますので、そちらのほうと連携を密にしながら、まず、育児の相談であったりとか、情報提供をいろいろそちらのほうに入ってくるかと思っておりますので、子育て包括支援センターと連携をしながら、協力体制をしながら図ってまいりたいと思っております。

先ほど委員が言われましたように、なかなか相談がしにくい、窓口に来にくいという方もあるかと思っておりますので、そちらにつきましては専用電話のほうを開線をさせていただいておりますので、そちらのほうの周知をさせていただきながら相談しやすい体制づくりに努めてまいり

たいと思っております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

先ほど寺社下課長も答弁されたので、妊産婦の関係で今のことで関連がありましたらお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

特定妊婦の方以外にも、まず妊娠届を出されたときに、助産師、あるいは保健師がしっかりと妊婦さんの状況をお聞きして、必要とあれば妊娠中でも電話を頻回にするなどして関わりを持たせていただいております。そういったことは、今後、子育て支援拠点のほうとも連携を密に図っていきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

先ほど加藤次長のほうが専用電話っておっしゃったんですが、こうしたことを周知、広報とかそういうのしかないかも分かりませんが、例えば、子育て支援センターとか保育園、小さいお子さんがいらっしゃるお母さんたちが出入りされるところにも、今も書いてあるかも分かりませんが、せっかくこうした拠点というのができたわけですから、これまでと考え方を変えて、虐待は知らなかった、連携がなかった、必ずそういったところで起きるので、そうしたことも含めて、この特定妊産婦も含めて、こちらの健康推進課と連携されて、これまでと同じ考えではいけないと思うので、少しその辺をまた知恵を絞って、痛ましい事故がないように取り組んでいただきたいと要望だけ。

福祉委員会委員長（白井 章君）

このページはありませんか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

野々部でございます。

新川福祉センターのことでお聞きしたいんですけど、他の福祉センターの利用見込みを見てますと大体横ばいなんですけど、この新川福祉センターだけでも1割も減ってるんですけど、施設の利用をする内容がいろいろ減ってきたのか、そこら辺をお聞きしたいんですけど。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

新川福祉センターにつきましては、現在、お風呂のほうは休止しております、そのために見込みのほう減らしております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

そうすると、今は修理してみえるのか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

失礼いたしました。

新川の老人福祉センターにつきましては、お風呂は使える状況なんですけれども、コロナ禍の影響で今、利用のほうを中止させていただいております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

先ほども施設管理のことで、ここも統廃合の対象施設というふうになっとるんですけど、そこら辺との兼ね合いてどういうふうに考えてみえるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

今後、計画のほうでは統廃合のほうに挙がっておりますけども、現在は今すぐにとりょうな計画は立てておりません。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

結構です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、ないようですので、ここで休憩に入りたいと思います。

11時から再開したいと思いますので、よろしくお願ひします。

（ 時に午前10時43分 休憩 ）

（ 時に午前10時58分 再開 ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

少し早いんですが、皆さんおそろいですので、委員会を再開いたします。

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

先ほど野々部委員の御質問の中に基幹相談支援センターの有資格者の人数を社会福祉士を2名というふうに御回答いたしましたが、今、確認したところ1名でしたので、おわびして訂正したいと思います。

よろしくお願ひいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

全部で3名ですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

正規職員は4名ですが、そのうちに社会福祉士の資格を持っている人数が1名でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、60、61ページに入りたいと思います。

松川委員。

松川 秀康委員

松川です。

小規模保育事業施設整備費で2か所という話なんですけれども、地域的には市内全地域ということなんです、地域の偏りとかはあまり考慮しないということですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課、加藤です。

第2期子ども・子育て支援計画の中でも、保育の提供料につきましては、全域というふうにさせていただいておりますので、基本的に全域なんです、ただし、今、原則で地域において就学前の児童とかが多い地域があるかと思っておりますので、そちらの地域が、住宅等が建ち並びましたら今後また保育ニーズが高まる場所もあるかと思っておりますので、そういうところを誘致ができればいいかなというふうに思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今の関連ですけど、0から2歳児を対象にした保育ニーズに対応するというので、待機児童解消に向けた事業だと思うんですけど、これを見ると開園が来年の4月ですか。新たに施設を造ったりして間に合うんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

今回の募集をさせていただきますのは、建築を新たに新築する業者と既存の建物を改修するという小規模の方法が2通りあるかと思っておりますので、まず、私どもといたしましては、年度当初、早急にまず新規の立ち上げをすることを公募させていただきまして、その後、夏ぐらいに改修の小規模事業所のほうを2回に分けて募集をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今のところ、そういう民間の設置者の引き合いとか、そういうのはございますでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

以前、フィリオ清須というところの公募をさせていただいたときもあるんですが、そちらのときも小規模保育事業所につきましては手を多く挙げていただいております。今年度につきましても、小規模事業所のほうを予算を計上しているという新聞報道の後、各事業所のほうからであったりとか不動産業者であったりとか、そういうところからのお電話のほうをいただいておりますので、私どもとしましては、まずは小規模事業者の選定委員会の中でしっかりと調査をさせていただきながら選定をさせていただきたいなというふうに思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

本市としても、2025年をピークに人口は減っていくというような見込みもされておりますし、こういう少子化で子どもの数もそれに伴って大きなマンションが建たない限り、子どもの数も増えてくとは私は思わないんですけど、今後こうした施設ね、どういうふうに考えられとるのか。

特に0歳から2歳と言われると保育士の数も多数必要になると思うし、現時点でも保育士確保にかなり苦勞されてるということで、民間に任せて民間でやっていただけるならそれにこしたことはないんですけど、市として、今後、こういう施設に関してどういうふうを考えられとるのか、一言あったらお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

今後の保育ニーズの提供量の考え方といたしましては、一応、先ほどもお伝えをさせていただきました第2期子ども・子育て支援事業計画の中で、まず、今年度、令和3年度に1か所、認定こども園を増設させていただきまして、令和4年度に2か所、小規模の保育事業所のほうを公募させていただきまして、まずは保育ニーズ量の確保に努めているところでございます。

今後、児童の増加傾向であったりとか、特に今、幼児教育・保育の無償化によって保護者の保育ニーズのほうが相当変わっているかと思っておりますので、そちらのほうはしっかり動向を把握させていただきながら、また今後検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

分かりました。ありがとうございました。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

同じところでございますが、現在の0から2歳の待機児童の人数で何人ですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

令和3年4月につきましては、0から2歳までの待機児童はございません。確かに今回、認定こども園のほうを造成をさせていただきまして、要望のほうは相当多くなってきておるところは十分把握をしておりますが、どこかのところですね、例えば、御希望の園ではないところもあるかもしれませんが、そういうところを御紹介をさせていただいたりとかしておりますので、基本的には待機児童にはならないというふうに私ども判断をしております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

途中で入所したいとか、私たちもよく相談を受けるんですけど、もちろん0歳から2歳ですが、なかなか途中入所も待たなきゃいけないとか、今おっしゃったように、希望する園に入れなにかあるんですが、保育所に預ける年齢が低年齢化してきているので、今たくさんいらっしゃるのかなと思ったんですが、子育てに手厚い清須市ですから、こうしたことは私は大歓迎なんですね。定員が15人から19人ですから、2か所造ればその倍ということですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。委員の言われるとおりでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

とすれば、約30人ぐらいは枠が広がります。あと、入り方としては、市のほうを通して入るのか、それとも民間なので個人が申し込むのか、その辺はどうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

今回の小規模事業所につきましては、公立保育園と認定こども園、保育部につきましては小規模保育施設も含めた形で、全体的な形で募集のほうをさせていただいておりますので、まずは市

のほうに申込みをしていただくという形になります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

これは国・県支出金が約1億円出て、市の持ち出しは約1千300万円と約10分の1強で、大変これはウエルカムの事業なのかなと思うんですが、1年後、令和4年からですね。先ほど富田委員もおっしゃったんですが、ちらほらそういう情報というか、そういうことも心得てみえるんですかね。手を挙げてみえるのかどうか分かりませんが、もちろん公募するんですけど、こうやってはっきり令和4年からやると言い切っていらっしゃるので、そのあたりをもう少し詳しく。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

内容も含めた形のほうでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

大ざっぱで結構です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

まず、今回ですね、先ほども答弁をさせていただきましたが、事業者の方はよくアンテナを張って見えてますので、今回募集のほうをさせていただきますというふうにお伝えをさせていただいたところ、あと、子ども・子育て支援事業計画の中もよく皆さん事業者の方が見えてみえますので、令和4年から募集するという事は知って見えておりますので、以前から多数お問合せのほうはいただいております。

選考方法につきましては、先ほどもお伝えさせていただきました選考委員会のところで書類審査をさせていただきます、そちらの中でその後プレゼンテーションとかヒアリングを行わせて

いただいて、総合的な形で判断をさせていただいて公募をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ほかには。

岸本委員。

岸本 洋美委員

その2行下の子ども食堂、この補助金がこれまでより減っております。令和3年度のこの考え方。

ごめんなさい、先ほどの質問終わりました。子ども食堂の補助金が7万5千円減っておりますが、これまでたしか20万円出てたと思うんですが、考え方を教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

子ども食堂の20万円につきましては、まず、モデル事業といたしまして2年間実施をさせていただきましたので、そちらのボランティア団体の方に20万円をお渡しさせていただきました、清須にあった子ども食堂はどういうものかということを検証していただいたものでございます。

その後、今回、子ども食堂として挙げさせていただいておりますモデル事業のほうは終了させていただきましたので、まず新規に立ち上げる事業者であったりとか、既存でやってみえてる団体に対しまして運営費の一部を補助させていただくものでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

市内にはどのくらいあるんですか、子ども食堂。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

私どものほうで今、把握をさせていただいている子ども食堂としてお名前を出されてみえてるところは1か所になっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

私も存じております。本当に一生懸命、地元の方と一緒にやっていらっしゃる阿原のほうだと思うんですが、今後こうしたことを市として広げていく、そういったことはどういうふうにお考えですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

確かに、子どもさんの居場所づくりであるということも含めた形で、子ども食堂があることに关しまして大変よいことだなというふうに思っております。

ただし、あくまでも子ども食堂につきましては、他の自治体もそうなんですが、ボランティア団体のほうが実施をされてみえてるということもありますので、今後立ち上げを希望されるボランティア団体がありましたら、今回お載せさせていただいているような形で市として助成が一部でもできればなというふうに感じております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他には。

松川委員。

松川 秀康委員

113ページ、保育所入所AI選考システム、この導入によってどれぐらいの効率化が図れたか教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

まず、A I システムのほうの導入をさせていただきましたのは、まず、事務の効率化をメインに挙げさせていただいております。今まで保育園の入所は10月に受け付けをさせていただきまして、その後、保護者の方に決定通知をお渡しをさせていただくのが、毎年、年が明けた1月の下旬ぐらいになっておりますが、今年度につきましては、12月の中旬には決定通知を送らせていただくことができましたので、一定の効果はしっかりあったというふうに考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

効率化で1か月以上時間短縮されたのは、入力作業が減ったのか、それとも入力した後の選考のところなのか、どちらですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

A I システムの導入にあたりまして、今までの入所の基準点数につきましては、就労のフルの方は10点というような形をさせていただいております。その後、調整指数として兄弟入所の点数等をつけさせていただいてはいたんですが、今までどうしても点数のほうは細分化されてないことも伴いまして、どうしても同じ点数になり得るということがありました。そういうことも含めまして、なかなか御兄弟の方が一緒のところは御案内のほうはできなかったということもありましたが、今回、点数のつけ方につきましても、就労時間に合わせた形で最高点20点というところから時間に応じて19点、18点というふうに減少するような形をさせていただいておりますので、少なからず、そういう細分化をすることによって点数づけが分かりやすくなったかと思っておりますので、そういうことも含めまして、A I を導入させていただくことによって、いち早く保護者の方に公平な点数がつけることができたというふうに認識をしております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

選考項目、点数20点になるんですが、項目自体は何項目ぐらいの要素があるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

まず、累計からいきますと、お母様のほうが就労されてみえてる方、当然、求職活動中の方、疾病等ある方ですね、そういう方々に点数をつけさせていただいておまして、例えば、就労につきましては大変細かく分かれておまして、保育に欠ける月20時間以上の方ですと、やはりその中でも40時間以上される方、35時間という方があるかと思っておりますので、就労だけでも14段階に分けさせていただいております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

先ほどの小規模保育のことでお聞きしたいんですけど、先ほど次長が結構応募があると言われてました。選考委員会を開いて選考されるんですけど、今、2施設を選考するんですけど、市として、選考基準としてどこの地区へ偏ってもいいのか、できればこの地区とこの地区へ施設を持っていきたいからというふうで、やっぱり選考基準で多少変わってくるのか、そこら辺の判断というのはどういうふうにされるんでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

先ほども申しましたように、児童数が地域によって変わってくるかと思っておりますので、そちらの多い地区といいますと、特に清洲地区であったりとか、今後、住宅が伸びるであろう春日地区のほうに小規模事業所ができるかと私どもとしては保護者の方に御不便をおかけしないような形にできるのかなというふうに考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

民間を使って上手にやっていくということが一番いいことだと。そうすると、選考の基準のときにこの地区をといる、そういうのが働く。こっちの地区に持っていきたい、今の話で清洲に施設を欲しいな、春日のほうにも欲しいなというふうで、今、選考委員会があるんだけど、そこら辺、市として話はある。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

今回公募させていただきます2か所につきましては、新設と改修の2か所ありますので、どうしても新設になりますと土地から建物からいろいろ御用意をしていただかないといけない形になるかと思ひますし、同じく、改修につきましても、まず、空きのところがあるかどうかということもあるかと思ひておりますので、そちらのことにつきましては、まずは事業者の方がお探しになっていただくような形だと思ひておりますので、どうしても土地の購入か借地なのか、新設等あるかと思ひますけども、そういうことも含めた形で事業者の方ですね、募集につきましては早々に動いてみえるのかなというふうに感じております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

野々部委員。

野々部 享委員

早急に結論いうのは出してあげないと、業者も困りますよね。

いいです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

保育所費のところ職員人件費ということで11億円計上してございますが、この金額というよりは保育士の確保という視点でお尋ねいたします。

広報ですとかホームページに保育士の募集が出ております。約10名ちょっとですかね。その

後、確保できたんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

今のところ広報等で会計年度任用職員を募集しておりますが、そこは埋まっていないという状況になっています。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

後半が聞こえなかったです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

会計年度任用職員を募集している10名につきましては、今のところ応募はございません。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

応募がないんですが、年度が始まりますけど、多分3月末で退職だとかお辞めになる方があると思うんですが、そういった確保に関してはどういうふうにお考えですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

保育士の確保につきましては、委員御存じのように、新聞等は正規職員の募集をさせていただいたかと思いますが、その後につきましては、広報等で周知をさせていただきまして、募集のほうを引き続きしております。今後、各保育士等の確保に努めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

新年度が始まりますけど、今、確保ができてなくて、新年度は不足分はどういうふうにしてい
かれる。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

こちらのほうに載ってはいないんですが、派遣職員のほうも、今回、人事秘書課に要望をさせ
ていただいておりますので、派遣保育士の職員数につきましては定員に満たしておりますので、
今のところ現状としては運営は可能かと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

私はよく分からないんですが、募集しても募集しても来ないって本市だけですかね。近隣の自
治体を含めて保育士が足りないと、お互い引っ張り合いだとか、そういった現状は石黒次長でも
いいですが、どうなんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

当然、保育士の募集につきまして、各市町のほうに確認をさせていただいたこともあります。
そちらにつきましては、やはり各自治体も保育士の確保には苦慮しているということは聞いてお
ります。

あと、毎年、子どもも養成学校のほうに訪問させていただきまして、今の学生の状況とかって
いうのは把握をさせていただいておりますので、養成学校のほうにも募集が少ないということも
聞いております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

いらっしゃる方が10人不足している、正職と会計年度任用職員と、本当に私は大きいことだと思うんですが、私たちにもよく相談がありまして、言いますなら、今、保育現場にいらっしゃらない方でOBの方たちから現場の方の声があって、職員同士での様々な人間関係があったりして、嫌になっちゃった、辞めたくなくなったって、そういう人も何人かいると聞くわけですね。そうしたことは当然御存じだと思うんですが、こうしたことの対処法を含めて、正規の方から会計年度任用職員の方、人事異動もどうしているのか、関係性が悪い方をいつまでも同じ園に置いておくのか、それとも異動するのか。

お聞きしますと、いわゆる臨時職員は異動がないとも聞きましたが、それも含めて、そういった異動ももう少し言いますと、新規職員で入った方がもちろん担任を持つんですけど、そこには自分のお母さんみたいな臨職がいて、当然、昔と今は言葉の言い方、また注意の仕方も違うんでしょうが、そうしたことで新規の方が嫌になっちゃった。でも、いつまでも臨職は同じ保育園にいるという、そういう場合の臨職の異動とか配慮とか総合的に含めて何で辞めていくのかと。まともな理由で辞められるなら別ですけども、そうした人間関係をいろんなOBの方から多々聞きます。ですから、うちの保育園だけが保育士が不足しているのかと聞いたんですが、人事のほうからその辺をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課、石黒でございます。

保育士につきましては、途中で離職するという事は、本市だけに限らず隣の北名古屋市なんかでも採用して数年で辞められるという傾向が見られるということでお話は聞いてます。やっぱり委員言われるように、上の方とのギャップがあって辞めていくパターンもあります。そこら辺については子育て支援課の中に保育長もおりますので、保育長を通して園長、園長を通して園長補佐とか主任の保育士ですね、その辺への指導の仕方というものは注意をして、なるべくなら若い子がそのまま続けて働いていただけるような環境づくりに努めてもらうようにお話しはしているところでございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

実態はつかんでみえると思うんですが、1点お聞きしたいのは、臨職、いわゆる会計年度任用職員、この方の異動はないと聞いたんですが、そのところはどうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

基本的に、会計年度任用職員の方につきましては異動がないというふうに私は理解しておりますが、そこも含めて保育長の御意見も聞きながらやっております。そういったところが現状でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

異動がないのが理由か分かりませんが、一応そのあたりもアンケートを取るなり、例えば異動したいとか、異動したくないとかあるかも分かりませんが、一回調査されて、先ほど言ったような理由もありますので、臨職の異動もありと。

総合的に見て、私は職員が10人も足りないというのは非常事態だなと。しかも新聞にまで載せて恥ずかしいぐらいなんですけど、今、聞いたら1人も確保できてないとおっしゃるから、一体何やってるんて。派遣でとおっしゃるんですが、最近、どこも保育士は離職率も高いのも聞いておりますが、これだけ子育てに厚い清須市と思っていたので、今で言う職員がいたいんだけど辞めざるを得ないという人間関係も含めて、その辺に私は力を入れるべきじゃないかなと思うんですが、その辺、副市長どうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

葛谷副市長。

副市長（葛谷 賢二君）

副市長の葛谷です。

保育職は全国的にいろいろ難しいというような、採用しても離職率が高い、あるいは保護者との関係性を保つのが大変だとか、いろいろ言われてはおるんですけども、それは保育職として

のキャリアを積んでいかなきゃいけないという状況もあるので、私どもは決してそれがきつんだよというようなことで育てていけないというわけではないもんですから、その中で育ててほしいという気持ちもございます。なので、本当に周りを見ながら、そういったことも含めていろいろ知恵を生かして、何とか確保に努めていきたいなというふうには思っています。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

今、岸本委員のほうでいろいろ質問されて、私も本当にいろいろな人からいろいろな相談を受けるんですけど、今回、質問だけはやめようかなと思ったんですけど、せっかくこういう話が出ましたので、現場の加藤次長ともいろいろお話しさせていただいて、現場のほうはかなり一生懸命やられとるんですよ。いろいろな学校へ行って新しい子を見つけてくるようなことも何度も加藤次長のほうもやられとるし、そう何で僕は入らないかなと思うんだけど、実際の面接のときに加藤次長って同席されているんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課、石黒でございます。

加藤次長につきましては、面接のときには同席されておりません。ただ、先ほど言いましたように、子育て支援課の保育長のほうは同席しております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

現場のほうで結構そうやって学校を回られていろいろ顔も出されて、いろいろコミュニケーションを取られとる以上、そこで例えば入ってくる人が来て面接を受けるときに、この間お会いした人ですねという話からいろいろ進んでいくんじゃないかなというふうに私はそういうふうに思うんですけど、この辺、せっかく現場のほうも入れて面接を含めて何かいろいろ手当を考えていったほうがいいんじゃないかなというふうに、せっかくお話に出ましたので、私の意見を言わせ

ていただきますけど、申し訳ないです。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、62、63ページお願いします。よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

64、65ページ。

松岡委員。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松岡委員。

松岡 繁知委員

松岡です。

児童館費の部分の一番下の児童館整備費、（仮称）新・清洲児童センター整備費というところで質問させていただきたいんですが、金額のほうは4億6千400万円となっていますけど、これまで建設された市の中の児童センターの金額に比べますと高いように思います。これに関しては児童館の児童数の増加とか規模とかの影響があるのかということを確認したいんです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

今回建設いたします児童センターにつきましては、今までの児童館ではなく児童センターとして機能を有するものの建築を予定させていただいております。

児童館と比較しまして、遊戯室につきましては、体力増進のための必要なスペースを確保することも含めまして、先ほど委員の言われましたように、清洲小学校の児童が大変増加をしておりますので、それに併せて放課後児童クラブを御希望される方も増加しているところでございます。

旧の清洲児童館ですけど、今までは2階のほうで2クラブと清洲小学校のJRC教室を活用さ

せていただきまして3クラブで実施をさせていただいておりますが、今回、児童数の増加も含めた形で1クラブ増設をさせていただきまして、4クラブを予定させていただいております。そういうことも含めまして、建築面積が増えたことも1つの要因でもありますし、建築の物価指数も今、上昇していることも含めた形で、西枇杷島児童センターと比較をいたしますと金額が上昇している理由になっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松岡委員。

松岡 繁知委員

分かりました。ありがとうございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

次へ行きます。

66、67ページよろしいでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

説明欄の生活保護費のところでは生活保護費、まず、生活困窮者自立相談支援等のところでは、現在の市の困窮者の現況だけまずお聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

現在、生活に困られている方の相談件数につきましては、昨年に比べ急増しているような状況でございます。

また、清須市のほうで行っております住居確保給付金の決定数につきましても、昨年度に比べ

て急増しているような状況でございます。

また、社会福祉協議会のほうで行っております貸付けの件数につきましても、こちらも数が急増しているというようなところで、様々な支援方法等々ですね、相談を受けながら、生活に困らされている方に寄り添った支援のほうに努めているところでございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

一応、相談件数だけお示してください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

令和3年1月末時点なんですけれども、相談人数としては153名、相談内容としては515件でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

相談件数ということは、先ほどおっしゃった住居確保も、決定した人数ですね。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

住居確保とはまた別に集計をしております、住居確保給付金のほうにつきましては、こちらは令和3年2月末現在の数字なんですけれども、相談件数としては延べで616件、決定件数としましては77件でございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

それで、令和3年度ということで予算が850万円出ておりますけども、令和4年度、今、住居確保も3月末までだったと思うんですが、この予算の見込みで大丈夫ですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

令和3年2月末時点の支給額の給付の決定の金額としては830万円強でございます。来年度につきましても同等の予算のほうを計上しておりますので、対応できるかというふうに考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

もう1点、先ほど社協での貸付けがあるということでおっしゃったんですが、社協のほうでは小口資金の貸付け10万円、20万円ありまして、もう1つ総合支援資金というのがございます。両方ともコロナ禍で国のほうが大分緩和されて、必要なそういった書類も本当に簡素で、借りたという人にはすぐにでもという、大分その辺が柔軟といいますか、弾力性があると思うんですが、そのことでお聞きしたいんですが、実は3月10日に御覧になった方もあると思うんですが、中日新聞の県内版にコロナ困窮者貸付金ということで総合支援資金、これが愛知県が大分断っていたとか、減額したり、申請を却下していたということが公に出ました。私たち公明党としても、こうした情報を少し前から聞いていたものですから、社協のほうに調査に行きました。確かに、小口資金にしても総合支援資金にしても、借りていらっしゃる方が本当にたくさんいらっしゃいました。あまり時間が長くなってもいけませんけども、この新聞によりますと、愛知県では約3千300人の申請を減額したり却下していたと。約3千人が減額した。300人は断っていた。これは福祉的な配慮に大きく欠けるという。

どういふことかといひますと、国のほうは国の社協全部にコロナ禍で大変な人に垣根を低くしてといふか、貸してあげなさいよと言っただけでも、悲しいかな、愛知県と新潟県も大分貸し渋りといひますか、審査を厳しくして、そういうことが起きたことが調査したら分かったんです。その中の愛知県。大きいところの兵庫県なんかと比べたら10万円も貸付金が違ってきた。窓口に行つて、駄目ですよ。あなた住宅ローンがあるから、他の債務があるから駄目ですよと、泣き泣き帰ってきた人は合計3千300人いたといふ、こういった実態が分かったんですが、本市の社協、私たちも行つて実態を聞いたんですが、あまり数は詳しくといひますか、きちつとした数はつかんでみえなかったんですが、社協を管轄する社会福祉課としては、こうした減額、また却下、そうしたことはこの間にあつて数字つてつかんでみえますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

社協のほうが行つております貸付けにつきましては、まず、清須市の社会福祉協議会のほうでは申請書類に不備がないかですとか、記入漏れがないかといふ書類上の審査だけでして、内容の審査につきましては県社協のほうが行つておりますので、清須市の社協の窓口のほうで減額ですとか不承認といふような判断をすることはないといふふうに把握しております。

また、現在、清須市のほうの生活福祉資金の貸付けの状況としましては、不承認の件数につきましては17件、申請より減額された件数につきましては31件あつたといふふうに報告を受けております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

今、不承認17、却下ですか、これが31、これは市の社協がこれをつかんでるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

申請額よりも減額された方が31件でございます。申請者の方と貸付けの希望金額等々につきましては社協のほうで書類も把握しておりますので、決定が下りてきた段階でその申請内容との相違を確認をしたところ、不承認が17件、減額されたのが31件あったというふうに把握しているところでございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

今回のこういったことが発覚したのを受けて、県の福祉課、また社協のほうでもこうした見直しを各自治体の社協に通達というか、こういうことで送っているんですが、今おっしゃった件数は、今後、自治体の社協としてはその方たちに何らかの方法で連絡されるのか、それとも今の数は県社協が直接その方たちに、審査が厳しかったです。もう一度申請してくださいと、3月1日付で厚労省から、また県から申請の追加貸付けという形で出ているんですが、それは地元の社協がやるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

あくまで承認、不承認、あと、幾ら貸し付けるかというところは県社協のほうで決定をしておりますので、県社協のほうから、不承認にした方、減額された方について清須市社協のほうにリストが来て、清須市社協のほうから連絡するのか、県社協のほうから直接連絡するのか、そういった具体なところは分かりませんが、清須市社協のほうで、あなた不承認ですとか、不承認だったのを取り消しますよとか、減額を取り消しますよというような判断はしないというふうに認識しております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

それで、私たちが聞き取りをしたときに、そこの相談される中で相談場所で引き下げられた。

結構ですというのは10件ほどあったというのは聞いたんですが、そのあたりのことはお聞きじやないですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

明らかに今回の貸付けの要件に当たらないというふうな聞き取り調査の中で判断できるものについては、その場で判断したケースもあるかというふうに考えております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

直接、社協がされて、国の社協、県社協、それから地元の社協、自治体の社協、ですから、直接、社会福祉課がどうこうというのは手をこまねくことはできないかも知れないんですが、ただ、少なくとも清須市民、また、こういったコロナ禍で困窮されている方々、わらをもすがる思いで行かれてそうした対応があつて、もちろんこれは愛知県の県社協が指導の仕方がいけなかったんですけど、でも、それを被って自治体の社協から市民に来てるわけですから、もう一度その辺を、窓口でそれになかないと10件断ったというのが頭にあるもんですから、そのあたりをもう一度、社会福祉課としても調べていただいて、今まで借りたいと来た方が、県からその方に行く場合もあるでしょうが、1人も漏れなくその方に情報が行くように。たしか3月末まで申請、または5月1日まで申請ですかね、期限が迫っているんですが、そのあたりは鹿島課長はどのように思われますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島です。

先ほどの断った方というようなお話でしたが、対象の方がコロナの影響等々によって今回の緊急小口ですとか、対象者を増やしたというようなところで、コロナは関係なくお金を借りにみえてる方も中にはいるというふうに聞いておりますので、社協のほうとしましては、今回のコロナ対策で対象者を広げたんですけども、そこに当たらない人についてはお断りした件が何件かあ

るということは把握しております。ですから、社協のほうでももう一度確認しながら対応するように、もう一度こちらのほうからもしっかりと確認するように伝えておきたいというふうに考えております。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

最後になりますけど、社会福祉課としては、先ほど言ったような困窮者の方に対して、社協ではあるけど、バックアップ、フォロー、その辺をする責任とは言いませんが、努力義務といますか、さっき6千万円から補助金も出してますけど、その辺のところ、最後もう一度、どうしましょう、部長、ご見解をよろしいですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

今回の件につきましては、若干聞き及んでおりますけれども、細かい事務手続がどういうふうに行われて、県社協とうちの社協のほうでどういうことがあって、今後その対応についてどういうふうに動くのかということにつきましては、県社協の指示、また、うちのほうの方向性も決めて、課長が申しあげましたように、今後、調査のほうをして対応していきたいというふうに思っております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ぜひとも1人も漏れなく、そういった困った方を救うというその思いでよろしくお願いします。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

次、66、67ページか68、69ページはどうですか。ありますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

富田です。

確認で質問したいんですけど、がん検診ですけど、令和2年度の場合、コロナの影響で集団健診がなくなったわけですけど、これは個別検診でということで通知が来ったわけですけど、受診率は下がりましたか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

健康推進課の寺社下でございます。

がん検診につきましては、緊急事態宣言の発令や県内の自治体の状況などを確認しながら、集団の健診をやめさせていただいて個別健診に移行させていただきました。

個別健診にして受診率ですが、胸部・大腸に関しましては前年度から60%減、胃に関しましては80%の減、子宮・乳がんに関しましては35%の減というふうで減っております。胸部や胃については、医療機関が市内には少なく、受けたくても近くで受けれる医療機関がなかったということもございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

ということで、今年はやられるという方向でよろしいんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

令和3年度につきましては、集団健診も申込みの方法を今まで市役所などにお越しいただいていたのを電話申込みという方法に変えまして、集団健診も実施してまいります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

昨年は集団健診がなくなりまして、がん検診に関しては、集団健診の金額でやられるというよ

うなことであったと思うんですけど、今年はどうされるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

令和3年度に関しましては、集団健診と個別健診の金額は同一ではなくて、個別健診の金額でやらせていただきます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

富田副委員長。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

最後に1点ですけど、今後、何かを書いてあったんですけど、こういった集団健診から個別健診のほうに移行していくようなことが書かれていたと思ったんですけど、その辺の考えてどうなっておるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

今後につきましては、市民の方の利便性も考えまして、集団健診から個別健診に移行できるものに関しましては個別健診を増やしていこうと思っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはないですね。

松川委員。

松川 秀康委員

結核予防費なんですけども、昨年度と比べて対象が大分減ってるようなんですが、その理由を教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

主要施策の概要の142ページの結核予防費に関しましては、昨年度から人数が減っております。この結核予防費につきましては、胸部のレントゲンを撮影させていただくと併せて肺がんの検診にもなっております。

同じ主要施策の概要の153ページを御覧いただきたいんですけども、(2)の個別健診の肺がん検診の下から2番目、ここが1千503人ということで、両方合わせると2千783人ということで、集団健診から個別健診の数を増やさせていただいて、合計の数としましては令和2年度に比べて約90名ほど多く人数を取っております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

松川委員。

松川 秀康委員

ありがとうございます。

一番下の乳児健康診査費なんですけれども、昨年と比べて差額が1千万円ぐらいあるふうに見えるんですが、プラス100万円ぐらいになっているんですが、その理由は何でしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

主要施策の概要の162ページと163ページを御覧いただきたいんですけども、昨年度までは妊産婦健康診査費に今年度ですと乳児健診に書いてあります(3)の新生児聴覚検査と(1)の1か月児健康診査、10か月児健康診査費が妊産婦健康診査のほうに入っております。今年度からは乳児に関しましてはこちらの乳児健康診査に入れるということで内容をこちらのほうに移しましたので、その関係で金額が変わっております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

何か発言ありますか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

途中ですが、これでお昼の休憩に入りたいと思います。

1時15分から再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

(時に午前11時52分 休憩)

(時に午後 1時10分 再開)

福祉委員会委員長 (白井 章君)

それでは、予定時間より少し早いんですけど、皆さんおそろいですので、委員会を再開いたします。

よろしくお願いいたします。

68、69ページはよろしかったですかね。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本でございます。

予防費のところの感染症予防費のところでのコロナウイルス関係はよろしいでしょうか。

ここでは予算もですけども、今まさに始まろうとしているコロナのワクチン接種の件で3点ほどお聞きしたいと思います。

まず、コールセンターが立ち上がりました。今現在までこの相談件数というのは入っているのでしょうか。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

寺社下課長。

健康推進課長 (寺社下 葉子君)

健康推進課の寺社下でございます。

コールセンターが3月8日に立ち上がりまして、その日は15件、その後は1桁の数の御相談が入っておりますが、まだ接種券などが送付されていないせいか、お問合せは少ない状況でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

岸本委員。

岸本 洋美委員

合計何件でしょうか。それと、相談内容というのは主にどういったことでしょうか。

福祉委員会委員長 (白井 章君)

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

コールセンターの合計の相談件数は、3月13日の土曜日までで30件になっております。

相談の内容としましては、接種券はいつ送られてくるのかですとか、足が悪いんだけど、バスに乗れない場合、どうしたらいいのかというような御質問もございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

30件ということで、8日ですから、立ち上がってから1週間ぐらいですかね、恐らくクーポン券が発送されてから来るのかなと思うんですが、国の予定が随分後に後になっていってるわけですけど、報道等では6月末までには高齢者の分は全部来るということはありますが、その前に4月26日に約1千回分ですかね、人数でいうと500人分ということですが、こうした中でまだ見えない部分はたくさんあるんですけども、国が6月末までにはということも見えてきました。そうした中でのクーポン券の発送の予定は大体いつ頃とされているのでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

国のほうの通知では4月23日までに送るよとということで通知が来ておりますので、当市においても4月上旬から中旬ということで、今、進めております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

月上旬から中旬ということで、このクーポン券の中には当然問診票、クーポン券、あと他にどういったものが封筒に入れられるのでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

健康福祉部長の河口です。

個別通知の中に同封するのは、今、決まっておるのは、今、言われたような接種券、クーポン券と予診票、あと、予診票の記入例、チラシ、どういったふうにとというようなものを同封する予定としております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

それと、その先の肝心の今後の接種予定というのは、今、現況で結構ですので、4月26日の500人分か、予定が立ったのか立たないのか検討中なのか、現状で結構ですが、教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

健康福祉部長の河口です。

今、当市において確定しておるのは、26日の週に1箱来るということは国のほうからの通知で決まっております。

その後どのようになるのかというのは、国の発送状況については通知は来ておりますけれども、国がどのように各都道府県に分配するかということは、まだ確かになっておりませんので、その発送の量について本市にどれだけの量が来るのかというところが決まっておりますので、今のところ本市で決まっておるのは26日の週に1箱だということです。

その1箱ですけれども、先ほど言いましたように、約1千人分。その後が続かないと、どうしても1千人を2回に分けて打つ必要がございますので、岸本委員が言われたように、約500人分の接種をどのようにやっていくのかということについては、今、検討しておる最中です。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

それで、4月23日までにクーポン券発送とおっしゃいましたね。それまでまだ1か月あるものですから国の流れが分かりませんが、4月23日までに国もと言ってることは、ここの段階になって発送するとなったときには、当然、ある程度、来る量もですけど、市としても国が送れというから送るんですけど、そこは确实というんですかね、その辺のことについての御見解を。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

正直申し上げて、全く未定であります。先ほど課長が答弁しましたように、国のほうが、遅くても何日までにという文言のその後についておりますのが、接種の時期になるべく近い時期に発送しろというふうな一言がついておりますので、うちのほうも早ければいいというわけではなく、あまり早く出すとなくされるおそれがありますので、そこら辺の見極めがどうなのかなというふうにですね、先ほど言いましたように4月中下旬になります。5月に入ってからワクチンの供給量が安定してどれぐらいに本市に入ってくるのかというところが、そこまでに出るのか出ないのかというのも不明確なところがございますので、でなければ、どういった形で出していくのかというのも含めて、今、検討中であります。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

本当に確かに国のほうが不透明というか不明瞭というか、そういう部分があるものですから、現場のほうは本当に大変かなと思うんですが、前も言ったことも含めて、この間3月1日に初めてワクチン関係の情報が広報で出されました。あのときもいろいろまだ日にちは確定じゃないですよみたいな書き方だったんですが、今後の情報提供というのは、例えば、近々出されるのか、今後いつ頃見通してみえるのかお示してください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

河口部長。

健康福祉部長（河口 直彦君）

今、分かっているのは、当然、各月に出る広報は間違いなく出ます。ただ、広報紙の記事の締

切りというのがある程度前にございます。以前も御説明しましたように、広報の臨時号も予定しております。そうしますと、今から一番直近ですと4月号ですね。臨時号をいつ出すのかというところも含めて、正直申し上げて、臨時号にも記事の締切りというのをございます。どこまで国の情報が明確にいつなるのかというところによって広報の臨時号をどのタイミングで出すのかというのは非常に難しいところでありますので、そこら辺の見極めをつけながら、通常の広報、そして臨時号、また一番タイムリーなのはホームページ、また、ホームページに記事を変更したという情報をすぐメール等で皆様に発信するということも含めて、情報提供には細心の注意を払っていききたいというふうにございます。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

本当に現場におかれては大変なことだと思ひますが、国の動向が不安定なので、よろしくお願ひします。

この件では以上です。

下から5行目で、新規事業で若年がん在宅ターミナルケア支援費ということで、72万5千円上げてございます。これは私ども公明党が提案させていただいて、新年度に事業としてあげていただきました。これは書いてあるように、20歳以上40歳未満、いわゆるAYA世代の方が在宅で介護関係のケアと申しますか、支援を受けるときのサービスができるということなんですけど、ここでは対象者1人と上げてありますけども、この周知と手続について伺ひます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

寺社下でございます。

周知の方法としましては、まず4月号広報、ホームページで案内をさせていただく予定です。あと、この支援費の案内チラシを作成しまして、医師会や本市周辺のがん治療の病院、訪問看護ステーションなどに御案内し、支援ができるように連携をする予定でございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

周知のほうと、また、そういった方が見えたときには丁寧な御対応をお願いします。

もう1点だけいいでしょうか。

下から2行目の妊産婦健康診査費ということでございます。ここで該当するかどうかあれですが、今回、多胎児の健診がまた新規事業で清須市としては回数を増やすということで施政方針にも載っておりましたが、このことにつきましてもう少し詳しく御説明をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

多胎児を妊娠された妊婦の方は、単体の妊娠の場合よりも母体に負担がかかることから、妊娠中の母体管理がとても重要になります。また、経済的負担も大きくなりますので、今回、多胎妊婦の方が安心して出産できる体制づくりのために、妊婦健診、ふだんですと14回に加えて5回分を追加して費用の補助をさせていただくものです。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

多胎児というのは1年間に何組ぐらいでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

多胎妊娠に関しましては、平成30年度が11件、令和元年度が15件、令和2年度2月までは13件の届出がございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ほぼ約11、13ということでございますが、多胎児が双子とか三つ子が生まれるというその

前、また産後とか、お母さんたちの情報交換という部分で、このところが167ページにございます。黄本の主要施策のふたごの会、多胎妊婦及び多胎児の育児経験者家族との交流会、既に行っていると思うんですが、こういったところの御意見とか状況というのを分かる範囲で結構ですが、教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

毎月1回、ふたごの会を開催させていただいております。2人子どもを連れて参加するというのもなかなか大変なことではありますが、出産された方から妊娠されている方に情報をお伝えいただいたり、同じ双子を出産された方同士がどんなふうな工夫をしてふだん生活してみえるのかというような情報交換がされております。

あと、市の制度として、例えば産前産後ヘルパーなどの事業とかもございまして、そういったものの利用などのお話も出ております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本です。

交流会、こういったことは大事だと思うんです。お聞きすると、小牧市あたりでは、コロナ禍もあって、まして1つの場所に双子、三つ子を連れていくのが困難ということで、今、オンライン会議でこうしたお母さん方の交流の場を設けているということをお聞きするんですが、本市はどうですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

寺社下課長。

健康推進課長（寺社下 葉子君）

本市ではまだオンライン会議などは開催ができていない状況です。また、他市の状況も調査研究をしてみたいと思います。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

よろしく申し上げます。以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他に。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、次のページへ行きます。70、71ページ、よろしいでしょうか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

ないようですので、これで質疑を終わります。

議案第2号 令和3年度清須市一般会計予算案所管分について採決いたします。

予算案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第2号 令和3年度清須市一般会計予算案所管分については、可決すべきものと決しました。

次に、議案第4号 令和3年度清須市介護保険特別会計予算案について、歳入歳出続けて説明をお願いいたします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

令和3年度一般会計・特別会計予算書及び説明書の150、151ページをお願いいたします。

歳入。

1款介護保険料、1項介護保険料、1目第1号被保険者保険料、本年度予算額11億414万6千円、1節現年度分、2節滞納繰越分でございます。

2款使用料及び手数料、1項手数料、1目総務手数料、本年度予算額3万円、1節総務管理手数料でございます。

3 款国庫支出金、1 項国庫負担金、1 目介護給付費負担金、本年度予算額 8 億 2 千 2 8 2 万 1 千円、1 節現年度分、2 節過年度分でございます。

2 項国庫補助金、1 目事業費補助金、本年度予算額 1 1 0 万円、1 節介護保険事業費補助金でございます。

2 目調整交付金、本年度予算額 1 億 4 1 0 万 4 千円、1 節現年度分でございます。

3 目地域支援事業交付金、本年度予算額 5 千 3 3 7 万 1 千円、1 節現年度分、2 節過年度分でございます。

4 目保険者機能強化推進交付金、本年度予算額 8 5 1 万 8 千円、1 節保険者機能強化推進交付金でございます。

5 目介護保険保険者努力支援交付金、本年度予算額 8 8 8 万 8 千円、1 節介護保険保険者努力支援交付金でございます。

はねていただきまして、1 5 2、1 5 3 ページをお願いいたします。

4 款支払基金交付金、1 項支払基金交付金、1 目介護給付費交付金、本年度予算額 1 2 億 7 千 7 6 5 万 8 千円、1 節現年度分、2 節過年度分でございます。

5 款県支出金、1 項県負担金、1 目介護給付費負担金、本年度予算額 6 億 7 千 4 9 8 万 2 千円、1 節現年度分、2 節過年度分でございます。

2 項県補助金、1 目地域支援事業交付金、本年度予算額 2 千 9 7 7 万 2 千円、1 節現年度分、2 節過年度分でございます。

6 款財産収入、1 項財産運用収入、1 目利子及び配当金、本年度予算額 1 千円、1 節利子及び配当金でございます。

7 款繰入金、1 項他会計繰入金、1 目一般会計繰入金、本年度予算額 7 億 6 千 9 6 8 万 9 千円、1 節職員給与費等繰入金から 4 節地域支援事業繰入金まででございます。

はねていただきまして、1 5 4、1 5 5 ページをお願いいたします。

2 項基金繰入金、1 目介護給付費準備基金繰入金、本年度予算額 6 千 4 0 7 万 9 千円、1 節介護給付費準備基金繰入金でございます。

8 款繰越金、1 項繰越金、1 目繰越金、9 款諸収入、1 項延滞金、加算金及び過料、1 目延滞金、2 項雑入、1 目第三者納付金、2 目返納金、3 目雑入、本年度予算額はそれぞれ窓口計上の 1 千円でございます。

続きまして、歳出をお願いいたします。

156、157ページをお願いいたします。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、本年度予算額7千693万9千円、1節報酬から18節負担金、補助及び交付金まででございます。説明欄6行目、高齢者福祉計画・介護保険事業計画費は、計画を推進するための委員会に要する費用を計上しております。

2項徴収費、1目賦課徴収費、本年度予算額328万9千円、10節需用費から12節委託料まででございます。

3項介護認定審査会費、1目介護認定審査会費、本年度予算額761万8千円、1節報酬から11節役務費まででございます。

2目認定調査等費、本年度予算額2千154万4千円、10節需用費から12節委託料まででございます。

はねていただきまして、158、159ページをお願いいたします。

4項趣旨普及費、1目趣旨普及費、本年度予算額20万円、10節需用費でございます。

2款保険給付費、1項介護サービス等費、1目介護サービス等費、本年度予算額43億5千675万2千円、18節負担金、補助及び交付金。

2項その他諸費、1目審査支払手数料、本年度予算額242万6千円、12節委託料でございます。

3項高額介護サービス費、1目高額介護サービス費、本年度予算額1億4千3万円、18節負担金、補助及び交付金でございます。

はねていただきまして、160、161ページをお願いいたします。

4項特定入所者介護サービス費、1目特定入所者介護サービス費、本年度予算額1億941万5千円、18節負担金、補助及び交付金でございます。

3款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費、1目サービス事業費、本年度予算額8千789万円、11節役務費から18節負担金、補助及び交付金まででございます。

2目介護予防ケアマネジメント事業費、本年度予算額1千115万2千円、8節旅費から18節負担金、補助及び交付金まででございます。

2項一般介護予防事業費、1目一般介護予防事業費、本年度予算額2千417万5千円、1節報酬から13節使用料及び賃借料まででございます。

はねていただきまして、162、163ページをお願いいたします。

3項包括的支援事業・任意事業費、1目包括的支援事業費、本年度予算額7千69万3千円、

7節報償費から18節負担金、補助及び交付金まででございます。

2目任意事業費、本年度予算額380万9千円、7節報償費から18節負担金、補助及び交付金まででございます。

4項その他諸費、1目審査支払手数料、本年度予算額22万6千円、12節委託料でございます。

4款基金積立金、1項基金積立金、1目介護給付費準備基金積立金、本年度予算額1千円、窓口計上でございます。

5款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目第1号被保険者保険料還付金、本年度予算額200万円、2目第1号被保険者還付加算金、本年度予算額1千円、いずれも22節償還金、利子及び割引料でございます。

164、165ページをお願いいたします。

3目償還金、本年度予算額3千円、22節償還金、利子及び割引料でございます。

2項繰出金、1目一般会計繰出金が窓口計上の1千円でございます。

6款予備費、1項予備費、1目予備費、本年度予算額100万円でございます。

以上でございます。御審議よろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本です。

150ページのところで介護保険料でお尋ねいたします。

今回、前年度より約7千300万円、介護保険料が増えております。約7.2%の伸び率ということですが、これはこの後に出てきます介護保険料の改正によるものでしょうか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

こちらのほうは高齢者の人口が増えてくること、あと、後期高齢者の人口が増加することと介

護報酬の改定や地域区分の変更により給付費のほうが増額を見込んでおります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

この保険料ですけど、そういうあれですか。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

申し訳ございません。そのとおりでございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

そのとおりって、今、高齢者が増えてるとおっしゃったんですが、そうじゃなくて、7千300万円は介護保険料の改正による増ですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢者の人口が増えてることによる増もございますし、介護保険料の増額によるものもございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

それで、本年度ですが、収納は向こうになるんですが、こちらの現課としては、そこら辺まで考えてみえるんですか。入と出があるから、当然それは現課のほうでも入も計算しないといけないと思うんですが、どのようにお考えですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

介護保険料を設定する際に、収納率のほうを掛けて算出しております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

令和3年度は令和2年度と比べてでもいいですが、どのように見てみえますか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

令和2年度につきましては、令和3年1月現在でございますけれども、現年度賦課の徴収率が83.13%、滞納繰越分が10.01%となっております、トータル81.63%の収納率になっておりますけれども、まだ期間がありますので、今後も徴収率は上がると見込んでおります。

8期におきましては、収納率は96.2%で見込んでおります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

現年度は分かりました。新年度はどうです。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

8期の収納率は96.2%で介護保険料のほうを設定しております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

8期というのは令和4年度のことを指してるの。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

令和3年、4年、5年を見込んでおります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

結構です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、質疑を終わります。

議案第4号 令和3年度清須市介護保険特別会計予算案について採決いたします。

予算案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第4号 令和3年度清須市介護保険特別会計予算案については、可決すべきものと決しました。

次に、議案第11号 清須市介護保険条例の一部を改正する条例案について説明をお願いします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

令和3年3月清須市議会定例会市長提出議案等の9ページをお願いいたします。

議案第11号

清須市介護保険条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和3年2月25日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、介護保険法に基づく第8期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料率の改正等を行う必要があるからです。

改正内容を説明いたします。

1枚はねていただき、10ページをお願いいたします。

介護保険法に基づく第8期介護保険事業計画の策定に伴い、令和3年度から令和5年度までの介護保険料率の改正を行うものです。

第3条1項中では、基準額である第5階層を6万2千100円から7万1千200円に改正し、その他の階層をそれぞれの負担割合により改正を行うものです。

また、将来にわたって安定した介護保険制度の運営の継続のため、第7階層以上の階層において合計の所得金額の見直しを行うとともに、現行の第10階層の所得金額の400万円以上を700万円以上1千万円未満と1千万円以上の階層を新たに追加するものです。

また、第3条2項中では、第1階層から第3階層までの低所得者階層に対して負担割合をさらに下げることによって介護保険料の軽減を行うものです。

附則として、この条例は、令和3年4月1日から施行とし、改正後の第3条の規定は、令和3年度以降の年度分の保険料について適用し、令和2年度以前の年度分の保険料については、なお、従前の例によるとするものです。

説明は以上でございます。御審議よろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

ありませんか。

私から質疑をさせていただきます。

それでは、副委員長、よろしくをお願いします。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

副委員長の富田でございます。

これより委員長の職にあたらせていただきます。

それでは、質疑を受けます。

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

今回の介護保険料の改正によりまして、保険料の総額の影響というのはどのぐらい増えるんでしょうか。それは分かりますでしょうか、将来にわたって安定した介護保険運営のために改正されるわけですけれども、すぐに出なかったら結構ですけど、申し上げてる意味は分かりますかね。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

すみません、お時間を頂いてよろしいでしょうか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

もう1点、介護保険料の対象者の階層が今までの10階層から今回12階層になりますよね。そうすると11階層と12階層が新しく2階層増えるんですけども、対象となる方はどのぐらいの方がみえるんでしょうか。全対象者に対する人数か割合でも結構です。それは分かりますか。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

第10階層が322人、第1段階、第11階層が106名、第2段階、第12階層が237名になります。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

分かりました。

それと、要介護の認定者数というのは、令和元年度の決算では令和2年3月末で2千662人ということで、要介護認定率が16.4%になっていますけど、一番新しいところでどのぐらいになっているんでしょうか。変わってますか、お聞かせください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

現在、認定率は15.8%になります。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

白井委員長。

福祉委員会委員長（白井 章君）

令和元年に比べると少なく、下がってるということですかね。いずれにしても15から16%ということですかね。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

この認定率の15から16%というのは、県の平均とか、あるいは全国的に見てどのぐらいの位置にあるんでしょうか。それだけお聞かせください。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

県と国の指針が古くなるんですけども、元年12月1日現在では、県の認定率は17.01%、国の認定率は18.8%になっております。

以上でございます。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

河口部長、答弁をお願いします。

健康福祉部長（河口 直彦君）

健康福祉部長の河口です。

先ほどの御質問ですと、介護保険制度の運営を維持するためということで、保険料自体がど

うなのかという御質問ですけれども、基本的に、介護保険料につきましては、需要ですね、どれだけ要るのかという試算をした上で、それを単純に人数割で出しております。

安定的な制度の運営ということを視野に入れますと、その制度自体が例えて言うと、あまり低所得者の方に云々ですとか、そういった制度の改正。制度の改正に伴ってどういうふうな保険料の影響額が出たのかといいますと、例えて言いますと、先ほどもございましたように、階層を10階層から11階層に分けました。また、地域区分といいまして、各施設の職員の、我々で言うと地域手当に当たるものですが、そういったものの見直しもさせていただいております。そういった影響額につきましては、基本的に数十円単位で影響がありますけれども、そういったものにつきましては、先ほども申し上げましたように、その制度の持続性を保つために、そういったところで均等に保険料の賦課をするために制度を改正させていただいた影響額というふうになっております。

以上です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

分かりました。

福祉委員会副委員長（富田 雄二君）

委員長の職を白井委員長のほうにお返しいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは、委員長の職にあたらせていただきます。

それでは、質疑を終わりました採決いたします。

議案第11号 清須市介護保険条例の一部を改正する条例案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第11号 清須市介護保険条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第12号 清須市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について説明をお願いいたします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

提出議案の13ページをお願いいたします。

議案第12号

清須市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和3年2月25日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、指定地域密着型のサービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定を整備する必要があるからです。

改正内容を説明いたします。

1枚はねていただき、14ページをお願いいたします。

主な改正内容では、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令に基づき、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、地域密着型介護、老人福祉施設入所者生活介護、特別養護老人ホームにおける人員配置及び設備基準の見直しの改正を行うとともに、その他として従業者への認知症介護基礎研修の受講の義務づけ、感染症対策の強化及び高齢者虐待防止の推進等の項目を追加するもので、国の省令の従うべき基準に沿った改正を行うものです。

附則として、この条例は、令和3年4月1日から施行するものです。

説明は以上でございます。御審議よろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

これで質疑を終わります。

議案第12号 清須市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第12号 清須市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第13号 清須市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について説明をお願いします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

提出議案の33ページをお願いいたします。

議案第13号

清須市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和3年2月25日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、規定を整備する必要があるからです。

改正内容を説明いたします。

1枚はねていただき、34ページをお願いいたします。

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令に基づき、共用型認知症対応型通所介護における管理者の配置基準の緩和、小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型共同生活介護（グループホーム）における人員配置及び運営基準の見直しの改正を行うとともに、その他として従業者への認知症介護基礎研修の受講の義務づけ、ハラスメント対策の強化及び感染症対策の強化等の項目を追加するもので、国の省令の従うべき基準に沿った改正を行うものです。

附則として、この条例は、令和3年4月1日から施行するものです。

説明は以上でございます。御審議よろしくお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

岸本委員。

岸本 洋美委員

少し分からないので教えていただきたいんですけども、今の議案第13号ですが、民間のところはありますし、うちでいくと、あとは公は特養しかないんですが、民間のところもあつたりとか、特養とかあるんですが、今、見直して、今回の条例案ですね、これというのは市の範囲はどこまで。例えば、おっしゃいました認知症対応型通所介護の管理者の配置の基準とか、どこまでそうしたの市の管理というか権限というのは、私、理解ができないもんですから。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

市が指定する事業所に対して、こちらのほうの内容の運営の基準の指導をしていくということでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ということは、この前の12号も13号、14号、15号、こういったことは全部市が指定している居宅介護だったり、こうした介護支援のところということでいいですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

そのとおりでございます。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ちなみに、これは施設で幾つぐらいあるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

第12号にございました地域密着型サービスにつきましては、認知症対応型共同生活介護のグループホームについては市内に3か所、小規模多機能型居宅介護については1か所ございます。また養護のほうも同じ設置数になります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ハラスメントですとかもそうですが、こういった様々監視といいますか、管理といいますのは民間で指定したところですけど、どのように見つけるというのは変ですけど、定期的にそういったことを出向いて調査しに行くのか、どのようにして管理体制をとるんですか。

福祉委員会委員長（白井 章君）

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

市が指定している地域密着型サービスにつきましては、運営協議会のほうに市のほうも参加させていただいておりますので、そちらのほうで確認等、実施できると考えております。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

結構です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それではこれで質疑を終わります。

採決いたします。

議案第13号 清須市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について採決いたします。

原案の賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第13号 清須市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第14号 清須市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について説明をお願いします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課の古川でございます。

提出議案の43ページをお願いいたします。

議案第14号

清須市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和3年2月25日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、規定を整備する必要があるからです。

改正内容を説明いたします。

1枚はねていただき、44ページをお願いいたします。

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令に基づき、ハラスメント対策の強化、感染症対策の強化、運営規定等の提示に係る見直し、高齢者虐待防止の推進及び電子的記録等の利用の項目を追加するもので、国の省令の従うべき基準に沿った改正を行うものです。

附則として、この条例は、令和3年4月1日から施行するものです。

説明は以上でございます。御審議よろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。ありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

これで質疑を終わります。

議案第14号 清須市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第14号 清須市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第15号 清須市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について説明をお願いします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

提出議案の49ページをお願いいたします。

議案第15号

清須市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和3年2月25日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定を整備する必要があるからです。

改正内容を説明いたします。

1枚はねていただき、50ページをお願いいたします。

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令及び指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令に基づき、管理者要件の見直し、管理者要件の適用の猶予等の改正を行うとともに、その他としてハラスメント対策の強化、感染症対策の強化及び高齢者虐待防止の推進などの項目を追加するもので、国の省令の従うべき基準に沿った改正を行うものです。

附則として、この条例は、令和3年4月1日から施行するものです。

説明は以上でございます。御審議よろしくお願ひいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

これで質疑を終わります。

議案第15号 清須市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第15号 清須市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第16号 清須市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について説明をお願いします。

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。よろしくお願ひいたします。

市長提出議案等の55ページをお願ひいたします。

議案第16号

清須市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和3年2月25日提出

清須市長 永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員認定資格研修に中核市の長が実施する研修を加え、資格要件を拡大するため必要があるからです。

提案理由を説明させていただきます。

1枚はねていただきまして、56ページをお願いいたします。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の省令の一部改正で、放課後児童支援員の認定資格研修要件に新たに中核市の長が拡大されたことにより、その内容を追加するもので、国の省令の従うべき基準に沿った改正を行うものです。

また、この条例は、交付の日から施行するものでございます。

以上となります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いいたします。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

これで質疑を終わります。

議案第16号 清須市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について採決いたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第16号 清須市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第21号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第13号）案所管分について説明をお願いします。

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤でございます。

令和2年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書をお願いいたします。

一般会計補正予算（第13号）案の健康福祉部所管分を一括で朗読説明をさせていただきます。

5ページの第2表 繰越明許費補正になります。

2段目、3款民生費、2項児童福祉費、事業名欄のファミリー・サポート・センター事務事業5万4千円から子育て支援センター事務事業49万6千円までと4款衛生費、1項保健衛生費、事務事業名欄の母子保健事務事業15万円及びこんにちは赤ちゃん訪問事業18万1千円は、いずれも令和2年度の国の第3次新型コロナウイルス感染症対策費の補正で、令和3年度に執行するために繰越しを行うものでございます。

12、13ページをお願いいたします。

初めに歳入になります。

3段目になります。13款分担金及び負担金、1項負担金、1目民生費負担金、補正額51万5千円の減、1節社会福祉費負担金の減でございます。

14款使用料及び手数料、1項使用料、2目民生使用料、補正額20万2千円の減、1節社会福祉使用料の減でございます。

15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金、補正額509万1千円の増、1節社会福祉費負担金の増でございます。

2項国庫補助金、2目民生費国庫補助金、補正額781万5千円の増、1節社会福祉費補助金及び2節児童福祉費補助金で、各種事業に対する国庫補助金の増と減になります。

3目衛生費国庫補助金、補正額184万3千円の減、1節保健衛生費補助金の減、13ページの欄の子ども・子育て支援交付金の増と14、15ページ説明欄の感染症予防事業費等国庫補助金の減になります。

16款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金、補正額1千237万6千円の増、1節社会福祉費負担金のうち説明欄の2段目、障害者自立支援給付費負担金と障害児施設措置費負担金の増及び2節児童福祉費負担金の増でございます。

2項県補助金、2目民生費県補助金、補正額1千80万5千円の減、1節社会福祉費補助金のうち説明欄の2段目、地域生活支援事業費等補助金の減と2節児童福祉費補助金の増でございます。

3目衛生費県補助金、補正額10万9千円の増、1節保健衛生費補助金の増でございます。

16、17ページをお願いいたします。

4段目、18款寄附金、1項寄附金、3目民生費寄附金、補正額10万円の増、1節社会福祉費寄附金の増でございます。

続きまして、歳出に移らせていただきます。

22、23ページをお願いいたします。

4段目になります。3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費、補正額1千87万5千円の増のうち10節需用費と12節委託料で、説明欄の平和祈念費の不用額の73万4千円の減でございます。

2目障害者福祉費、補正額243万1千円の増、12節委託料と22節償還金、利子及び割引料で、障害者総合支援費と障害児通所支援費の増でございます。

3目高齢者福祉費、補正額621万8千円の減、7節報償費から24、25ページの19節扶助費まで、高齢者施設福祉費及び敬老費の各事業の不用額の減になります。

5目社会福祉施設費、補正額409万6千円の減、10節需用費と12節委託料で、老人福祉施設等の不用額の減になります。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、補正額630万3千円の増、10節需用費から22節償還金、利子及び割引料まで、幼児教育・保育の無償化による認可外保育施設等の利用児童の増加に伴う施設等利用費の増と国の令和2年度第3次新型コロナウイルス感染症予防対策費を活用してファミリー・サポート・センターや民間保育施設等への新型コロナウイルスの感染予防費の増となります。

3目保育所費、補正額329万5千円の増、4目児童館費、補正額151万円の増、5目児童福祉施設費、補正額29万8千円の増、6目子育て支援センター費、補正額49万6千円の増、3目から6目の10節需用費の増額につきましても、国の令和2年度第3次新型コロナウイルス感染症予防対策費を活用した医薬材料費等の購入費の増になります。

はねていただきまして、26、27ページをお願いいたします。

3項生活保護費、1目生活保護総務費、補正額867万6千円の増、12節委託料の減と22節償還金、利子及び割引料の増でございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、補正額350万3千円の減、18節負担金、補助及び交付金で、救急医療費の不用額による減でございます。

2目予防費、補正額1千25万9千円の減、7節報償費から22節償還金、利子及び割引料で、

感染症予防費及び成人保健費の各事業の不用額による減と母子保健費では国の令和2年度第3次新型コロナウイルス感染症予防対策費を活用した医薬材料費等の購入費の増となります。

健康福祉部所管につきましては以上でございます。御審議のほどよろしく願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

26ページの生活保護費のところでございます。

これが約8千600万円出ております。午前中の話で困窮者も随分増えてるということなんです、どういった根拠で約800万円という増が積算といたしますか、教えてください。

福祉委員会委員長（白井 章君）

鹿島課長。

社会福祉課長（鹿島 康浩君）

社会福祉課、鹿島でございます。

今回補正であげさせていただいたのは、生活保護等に係る扶助費の過年度分の精算分の返還になりますので、直接的な現年の生活保護の費用とは別のものになります。

以上でございます。

福祉委員会委員長（白井 章君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。結構です。

福祉委員会委員長（白井 章君）

他にはありませんか。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは質疑を行います。

議案第21号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第13号）案所管分について採決いたします。

補正予算案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございます。全員賛成であります。

よって、議案第21号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第13号）案所管分については、可決すべきものと決しました。

次に、議案第23号 令和2年度清須市介護保険特別会計補正予算（第4号）案について説明をお願いします。

古川課長。

高齢福祉課長（古川 伊都子君）

高齢福祉課、古川でございます。

令和2年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書の64、65ページをお願いいたします。

介護保険特別会計補正予算でございます。

歳入。

6款財産収入、1項財産運用収入、1目利子及び配当金、補正額13万2千円の増、介護給付費準備基金預金利子でございます。

はねていただきまして、66、67ページをお願いいたします。

歳出になります。

4款基金積立金、1項基金積立金、1目介護給付費準備金積立金、補正額13万2千円の増、準備金の預金利子を基金に積み立てるものでございます。

以上でございます。御審議よろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

それでは質疑を終わります。

議案第23号 令和2年度清須市介護保険特別会計補正予算（第4号）案について採決いたします。

補正予算案に賛成の方の挙手をお願いします。

< 挙 手 全 員 >

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。全員賛成であります。

よって、議案第23号 令和2年度清須市介護保険特別会計補正予算（第4号）案については、可決すべきものと決しました。

次に、議案第26号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第14号）案所管分について説明をお願いします。

加藤次長。

健康福祉部次長兼子育て支援課長（加藤 久喜君）

子育て支援課の加藤です。

令和2年度一般会計補正予算書及び説明書をお願いいたします。

一般会計補正予算（第14号）案の健康福祉部所管分を一括で朗読説明をさせていただきます。

12、13ページをお願いいたします。

2段目になります。3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、70万円、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費、800万円、2目予防費、2千180万円、いずれも新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による財源の組替えでございます。

以上でございます。御審議のほどよろしくをお願いいたします。

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。

それでは質疑に入ります。

質疑のある方、挙手をお願いします。

（ 「なし」 の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

これで質疑を終わります。

議案第26号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第14号）案所管分について採決いたし

ます。

補正予算案に賛成の方の挙手をお願いします。

＜ 挙 手 全 員 ＞

福祉委員会委員長（白井 章君）

ありがとうございました。全員賛成であります。

よって、議案第26号 令和2年度清須市一般会計補正予算（第14号）案所管分については、可決すべきものと決しました。

以上で、福祉委員会に付託されました全議案の審議は終了いたしました。

なお、従来どおり、常任委員会の閉会中の継続審査の申出をすることに御異議はございませんか。

（ 「異議なし」の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

異議はございませんので、議長に閉会中の継続審査の申出書を提出いたします。

また、委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一任いただきたいと存じますが、御異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声あり ）

福祉委員会委員長（白井 章君）

異議はございませんので、そのように決定いたします。

これをもちまして福祉委員会を閉会いたします。

2日間に渡る御審議、お疲れさまでした。

（ 時に午後 2時19分 閉会 ）

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和3年3月15日

福祉委員会委員長 白 井 章